

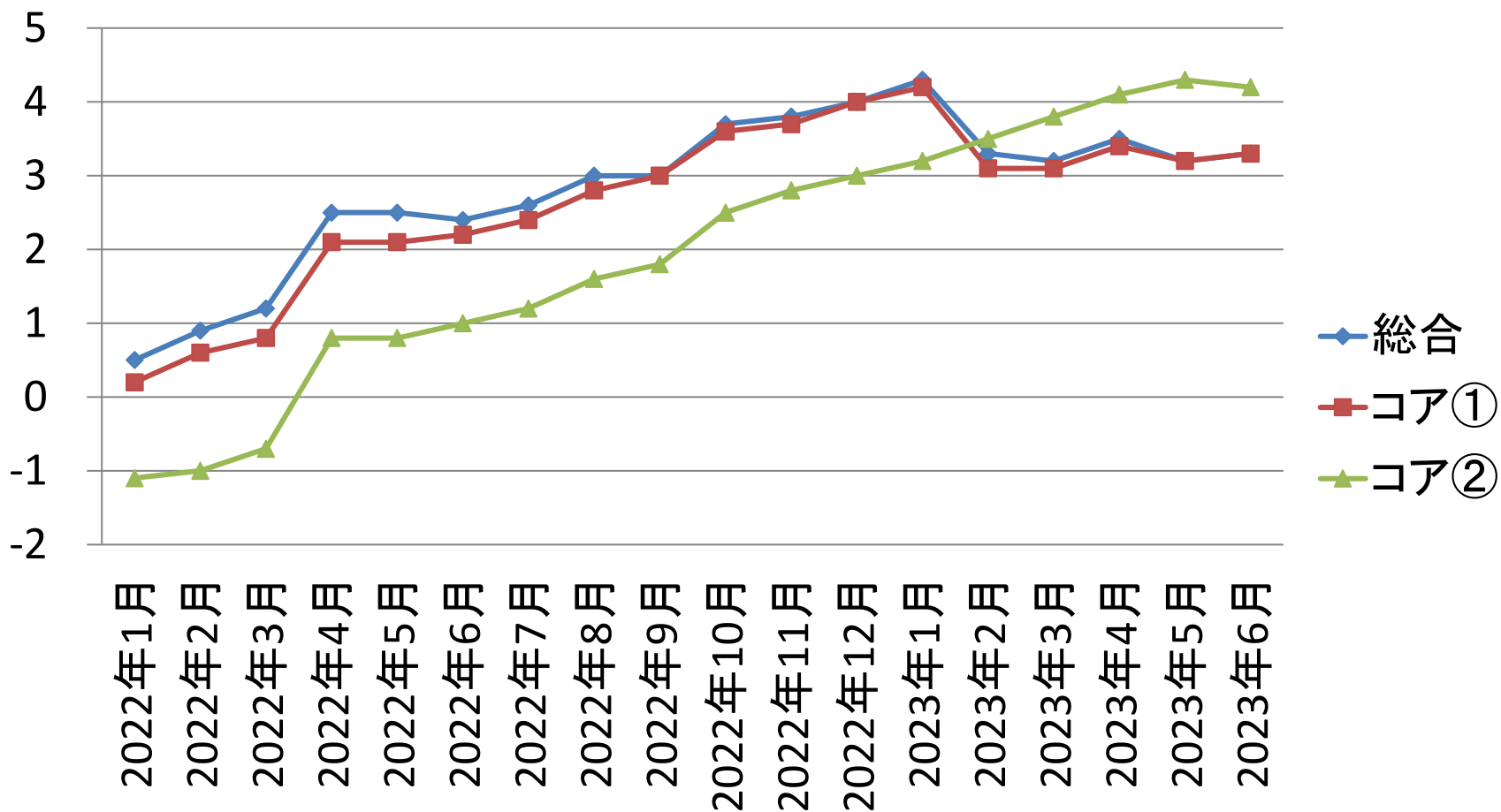
超インフレ時代のトレードアイデア

岡崎良介

デフレの時代からインフレの時代へ

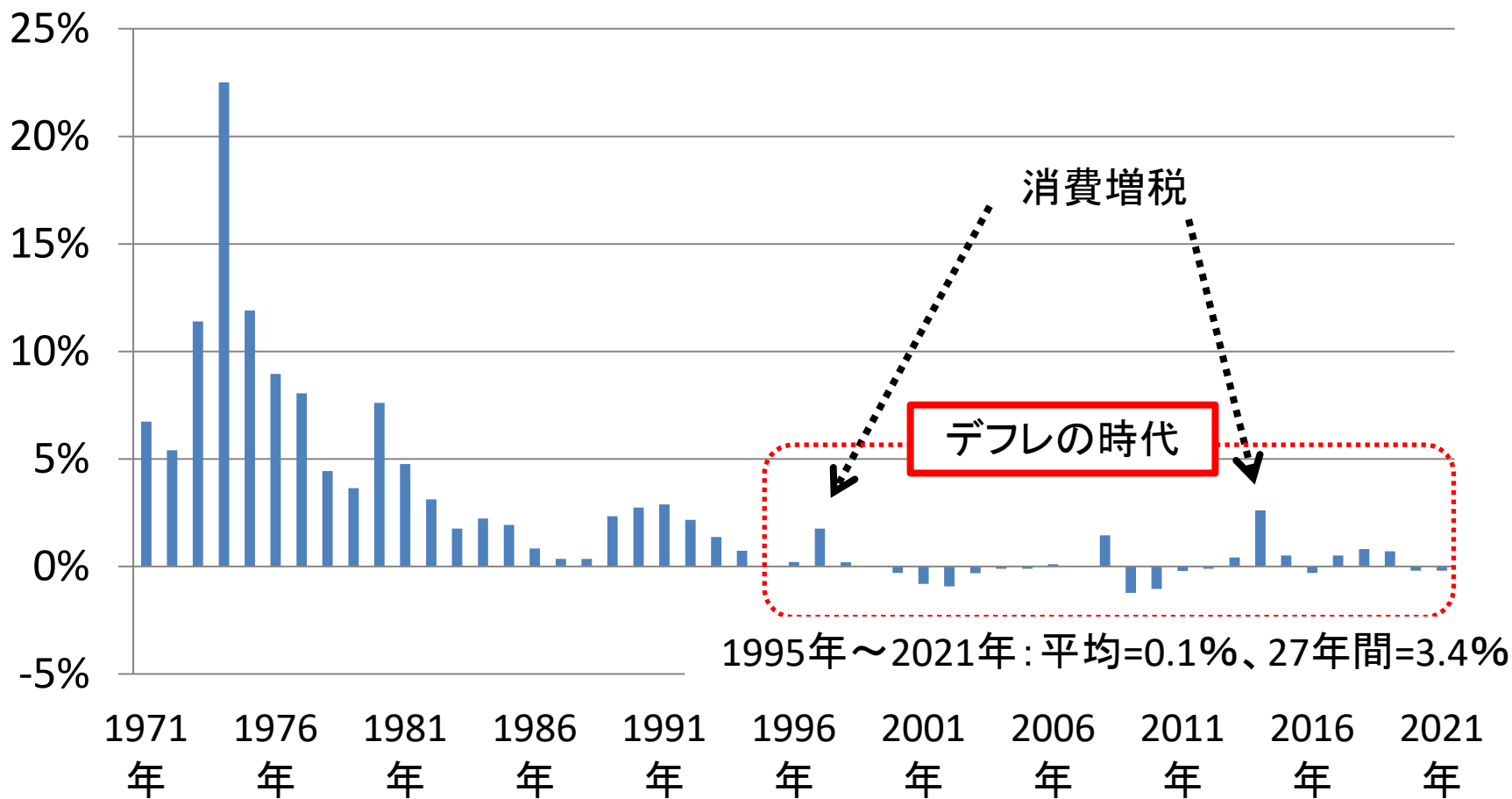
日本:消費者物価指数の推移(前年同月比:%)

コア①=生鮮食料品を除く、コア②=コア①からエネルギーを除く

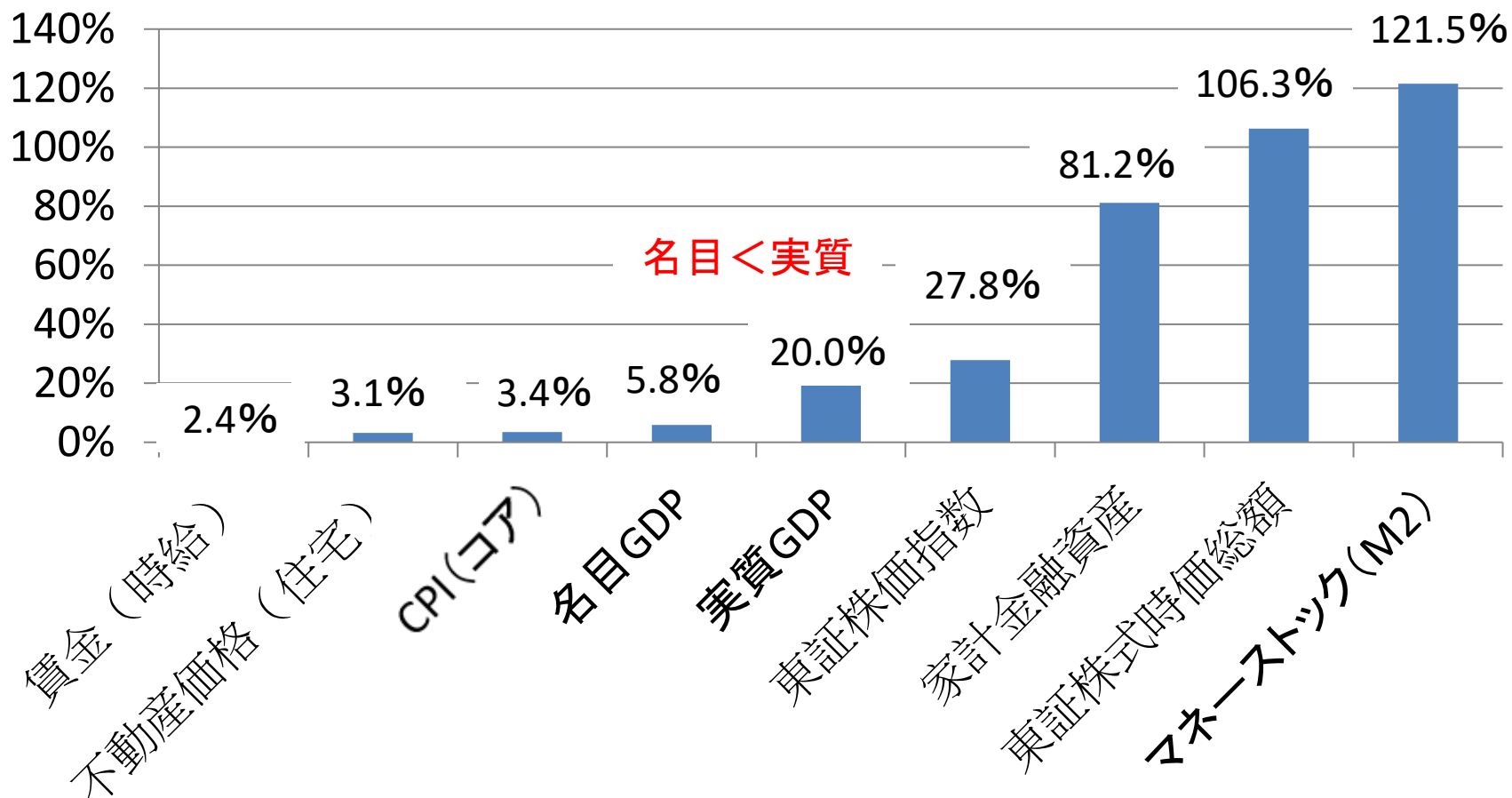


消費者物価指数(コア:年次):前年比の推移

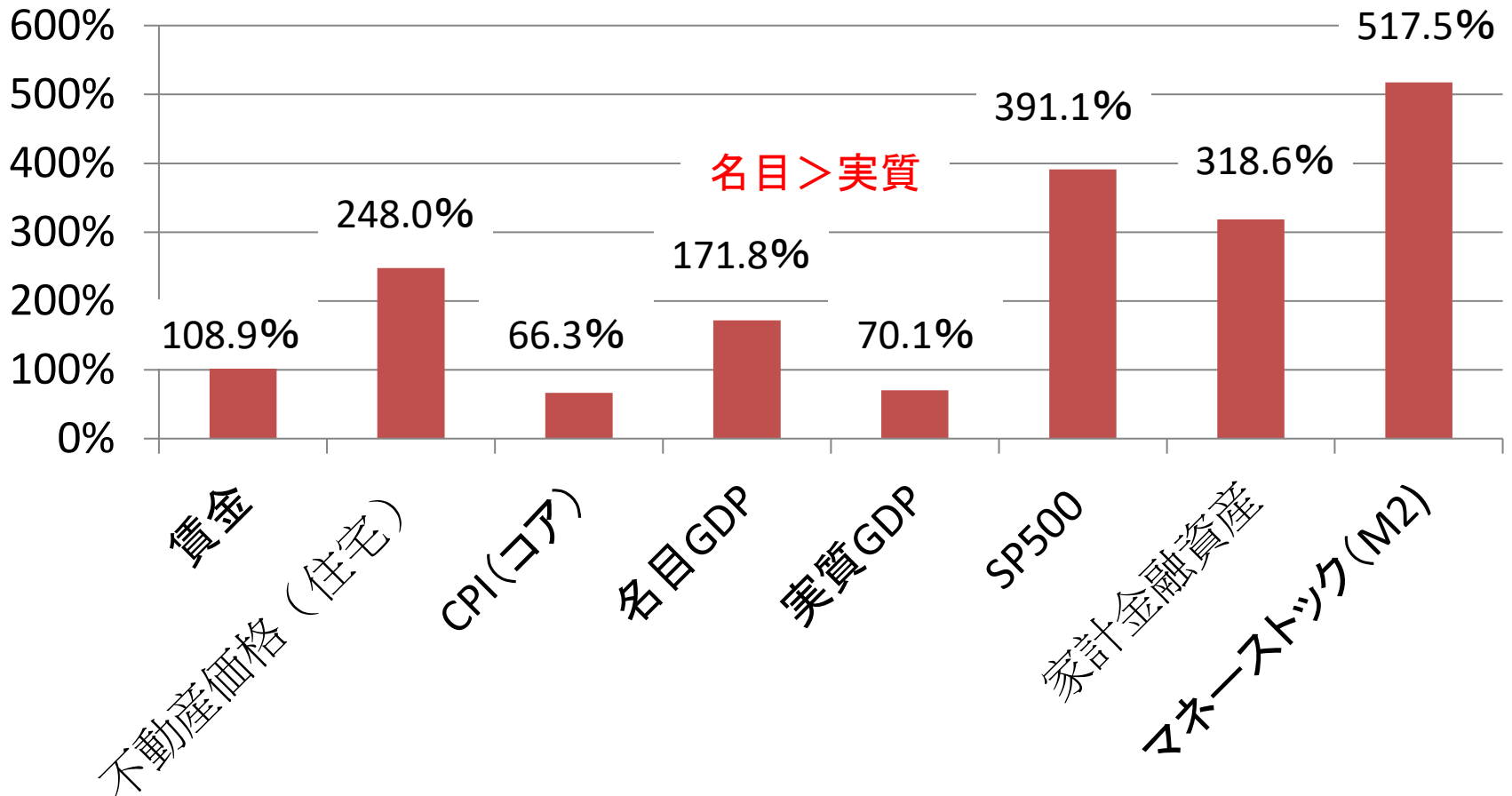
年次で見ると1995年から2021年まで(27年間)がデフレの時代



デフレの時代の増加率(1995年～2021年)

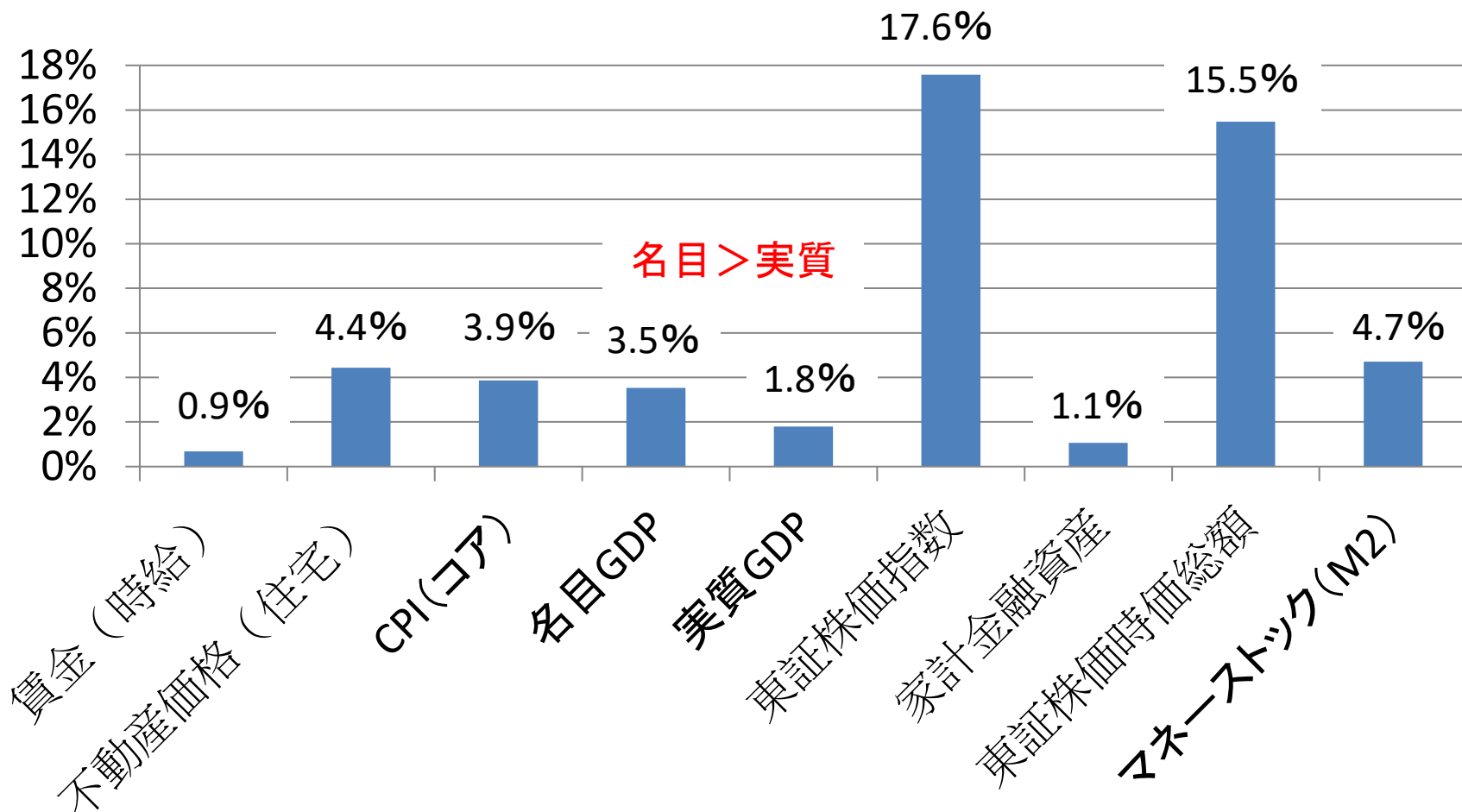


米国：日本がデフレの時代の増加率（1995年～2021年）



インフレの時代の増加率(2022年3月～直近)

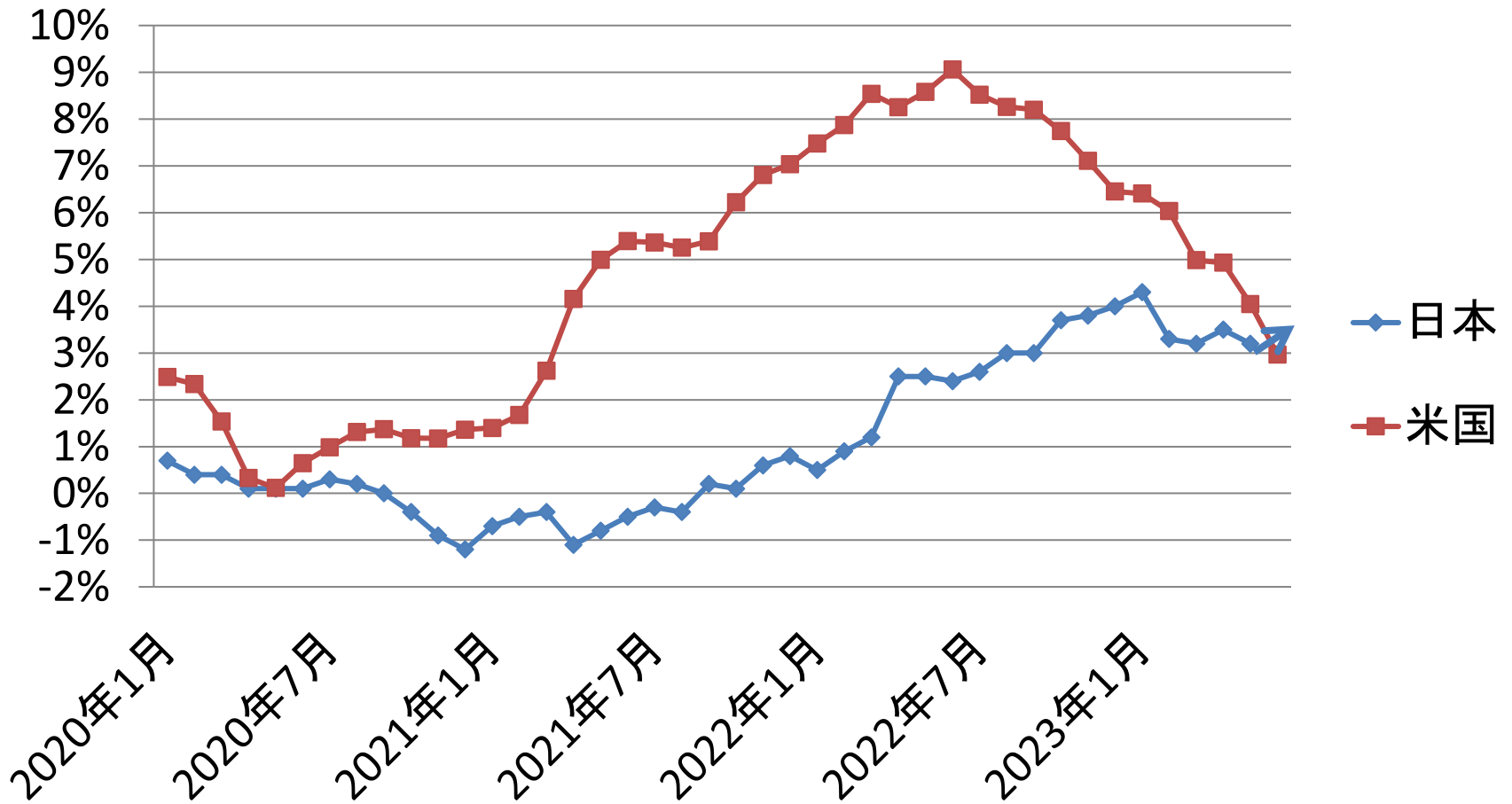
不動産価格、CPIコア、東証株価指数はすでにデフレの時代の累積値を突破



賃金、は23年5月まで、GDP、不動産価格は3月まで、CPIコア、東証株価指数、
時価総額、マネーストックは6月までのデータから計算

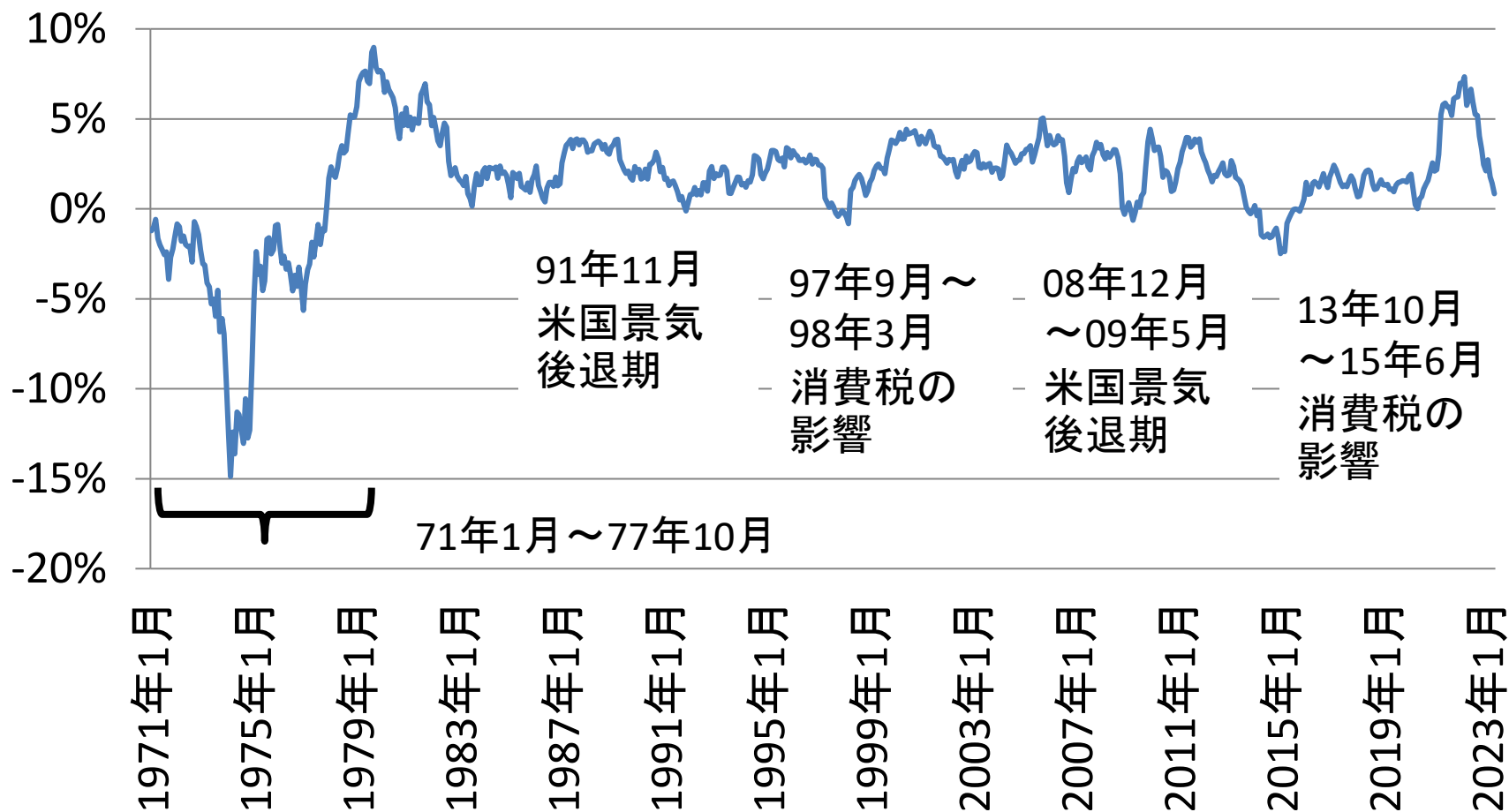
出典:総務省・内閣府・厚生労働省・日本取引所グループ・日本銀行より筆者作成

日米消費者物価指数の推移(総合指数:前年同月比)



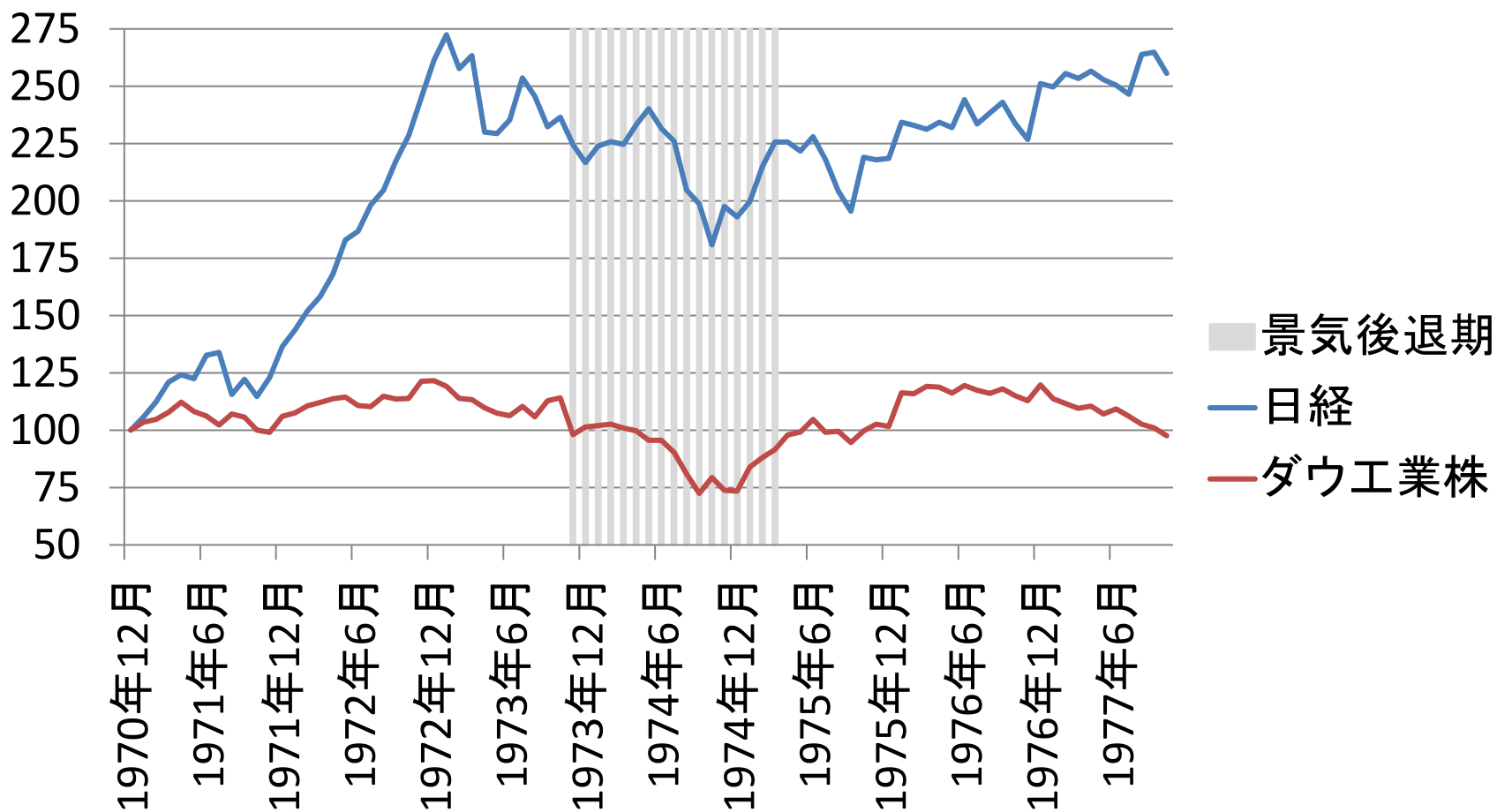
日米消費者物価上昇率格差の長期推移(米国－日本)

日本が米国を上回るのは過去5回



71年1月～77年10月：日米株価の動きと環境

日本＝日経平均、米国＝ダウ工業株：70年12月＝100として指数化



日銀の正常化への道

目標インフレ率2%時代の正常化

最も単純な長期金利決定モデル(植田日銀総裁)

2001年4月18日、青森県金融経済懇談会における講演

N年の長期金利 \doteq N年間の平均予想短期金利



2年金利 \doteq (1年目の政策金利+2年目の政策金利)/2

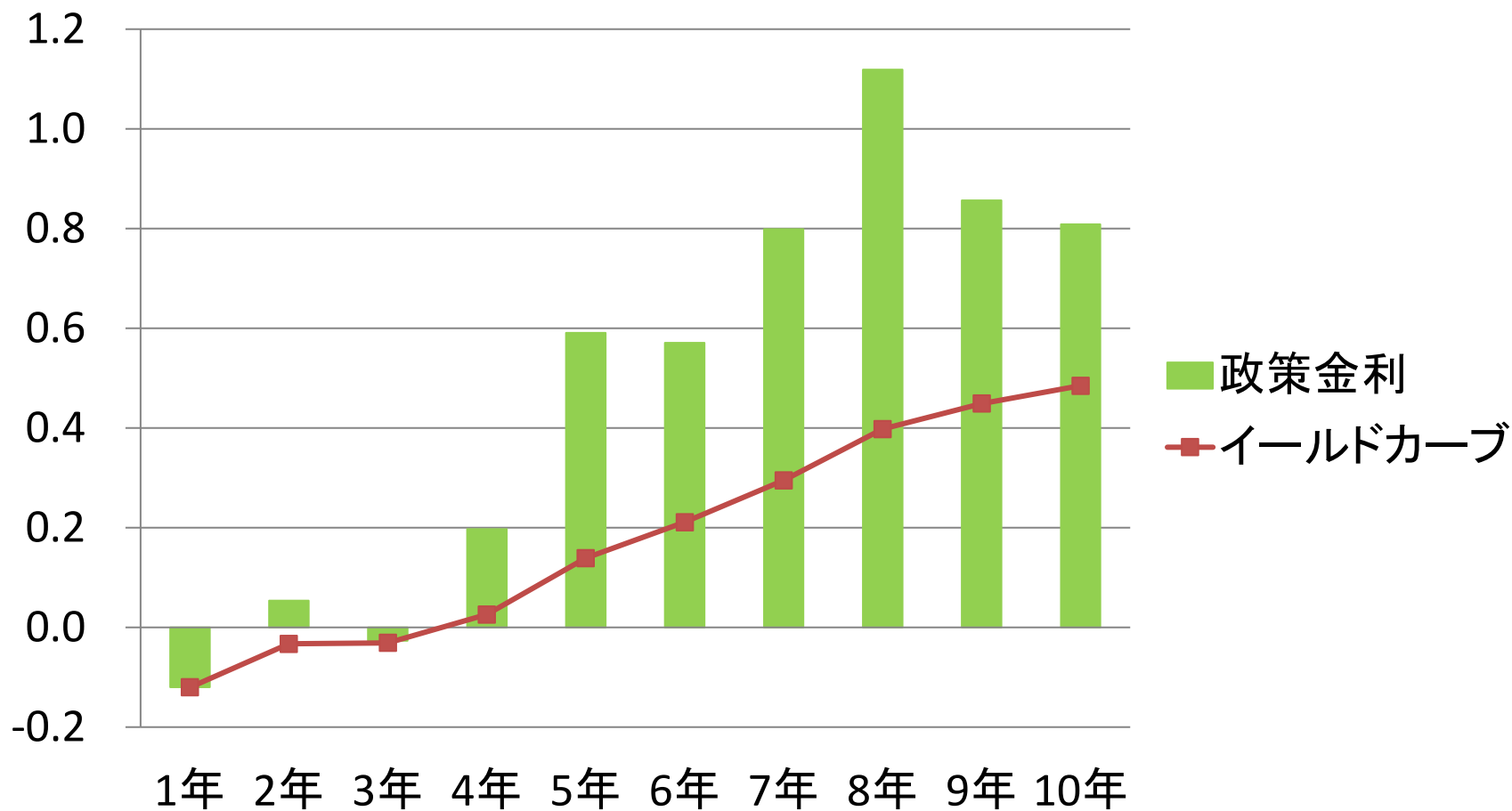


3年金利 \doteq (1年目+2年目+3年目の政策金利)/3



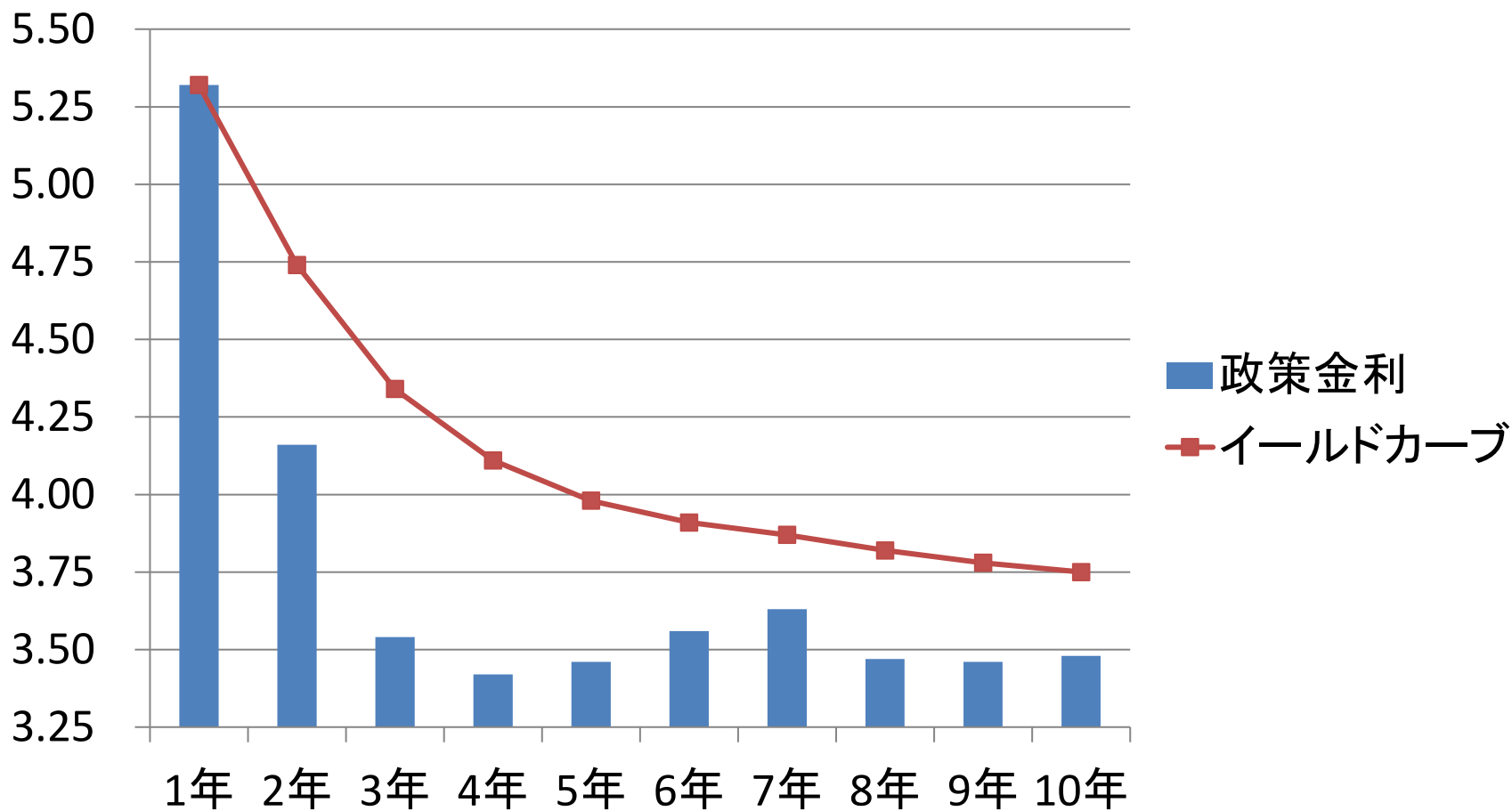
10年金利 \doteq (1年目+2年目+.....10年目の政策金利)/10

国債利回りから計算した政策金利(%) : 2023年7月18日 2027年に最初の試練



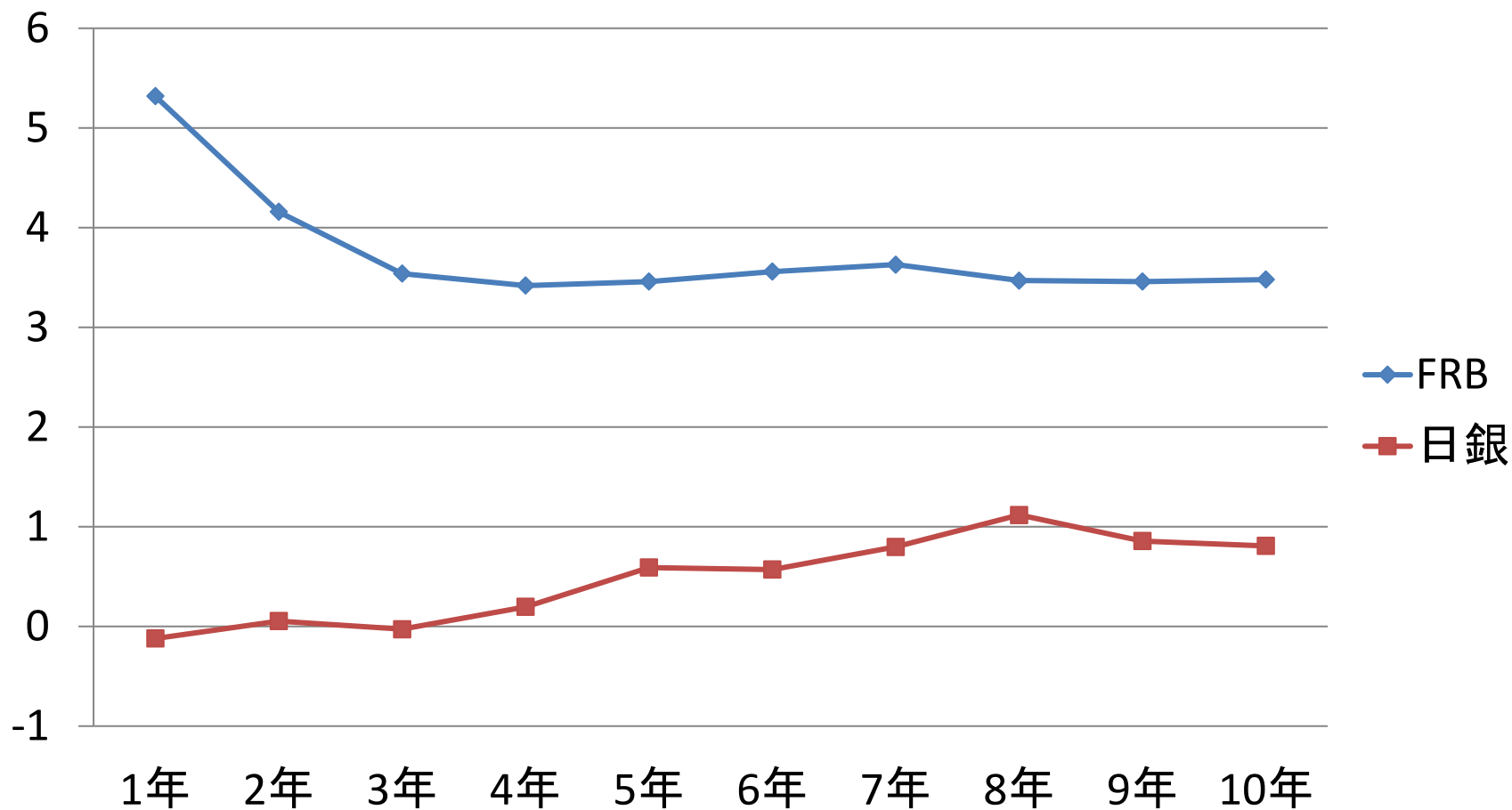
2年後(2025年)にマイナス金利解除、4年後から(2027年以降)本格的に利上げ

米債利回りから計算したFFレート(%) : 2023年7月18日 2026年まで利下げ(3.5%前後)、そこから水準維持

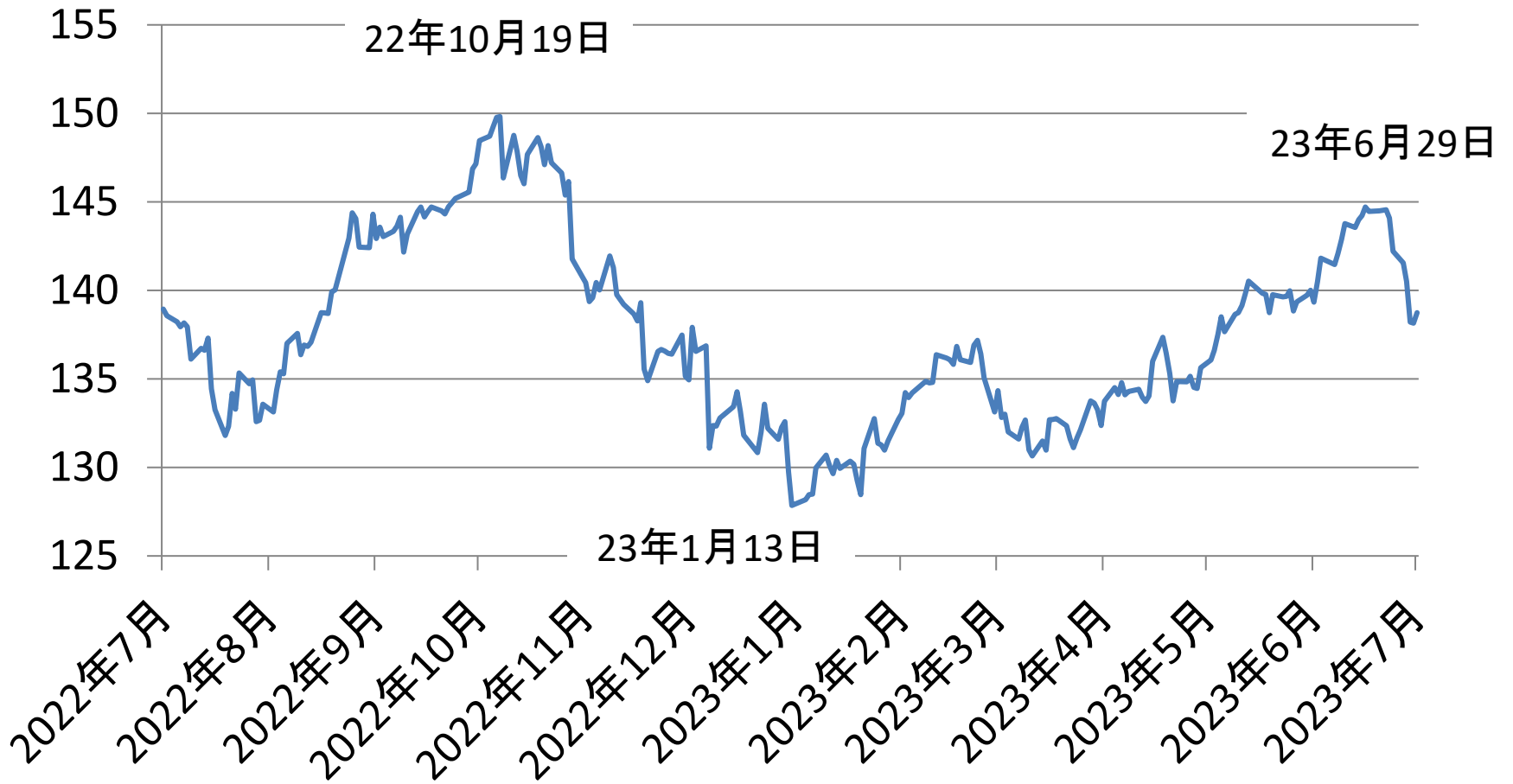


イールドカーブから計算した政策金利(%)

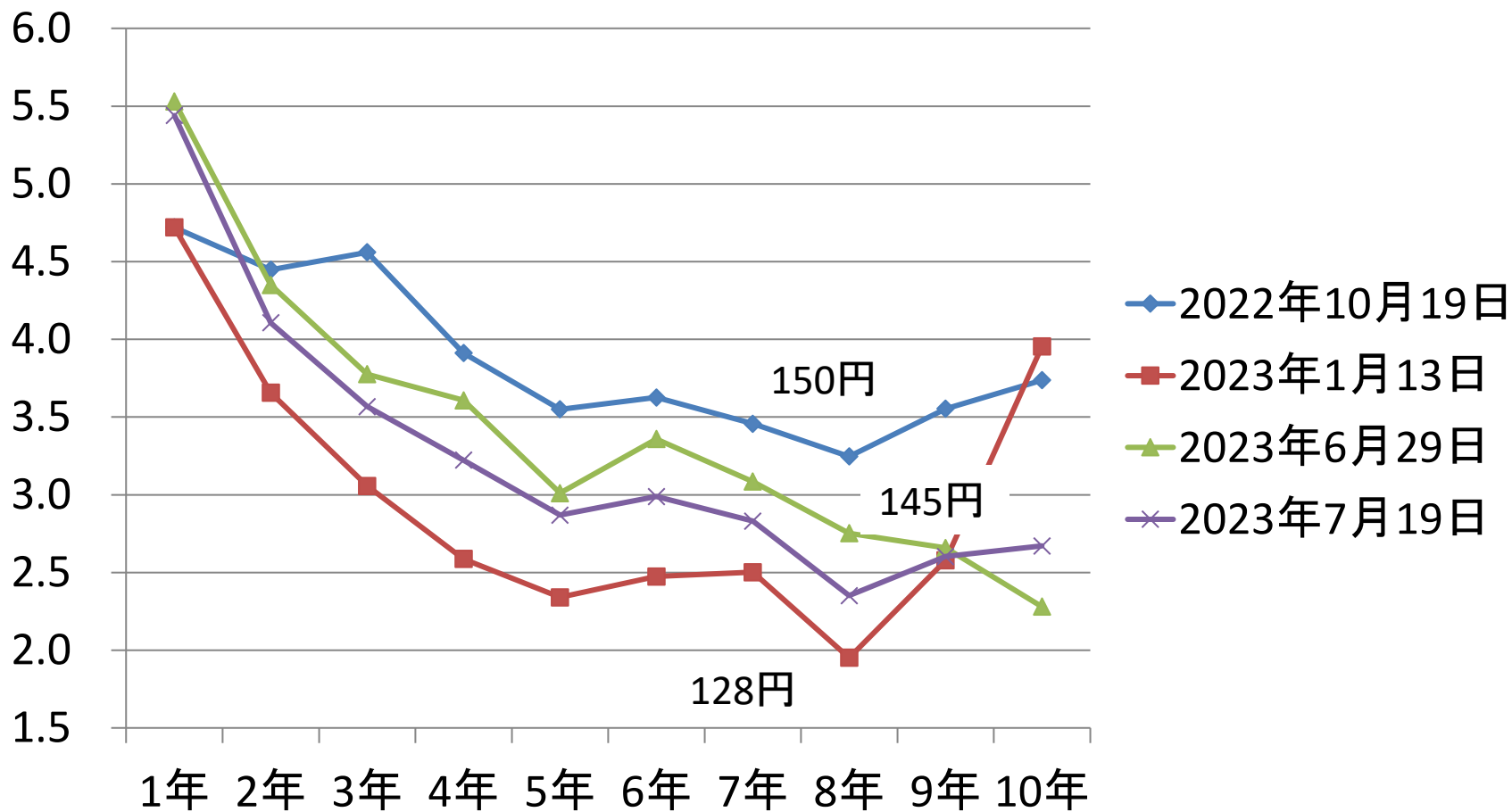
8年後(2031年)まで金利差縮小 ⇒ 政策金利=2.35%



過去1年間のドル円の推移



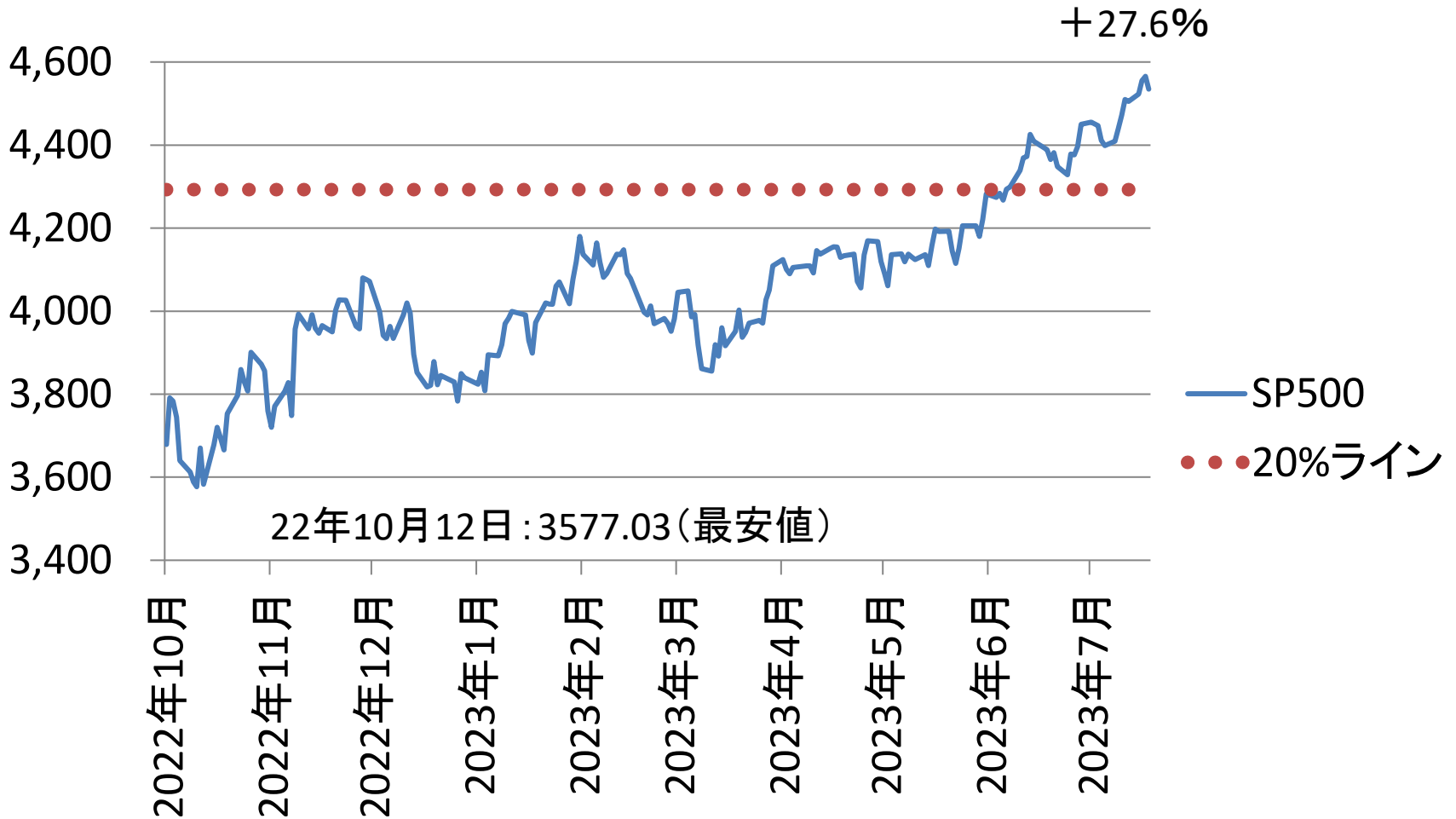
イールドカーブから計算した4時点の政策金利差(%)



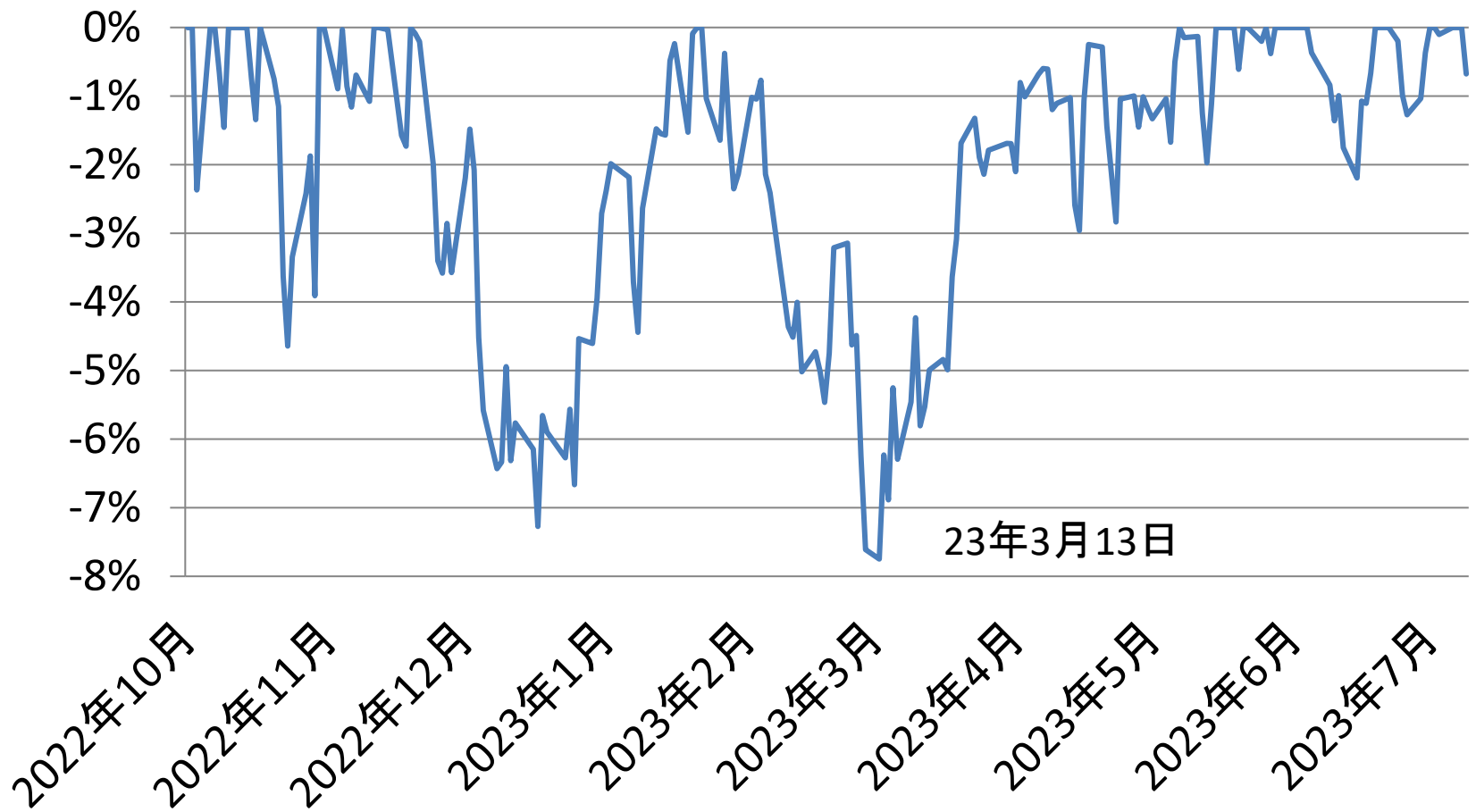
現代のインフレ相場＝
ゴルドロック相場との付き合い方

目標インフレ率2%時代に生まれた
新しい相場

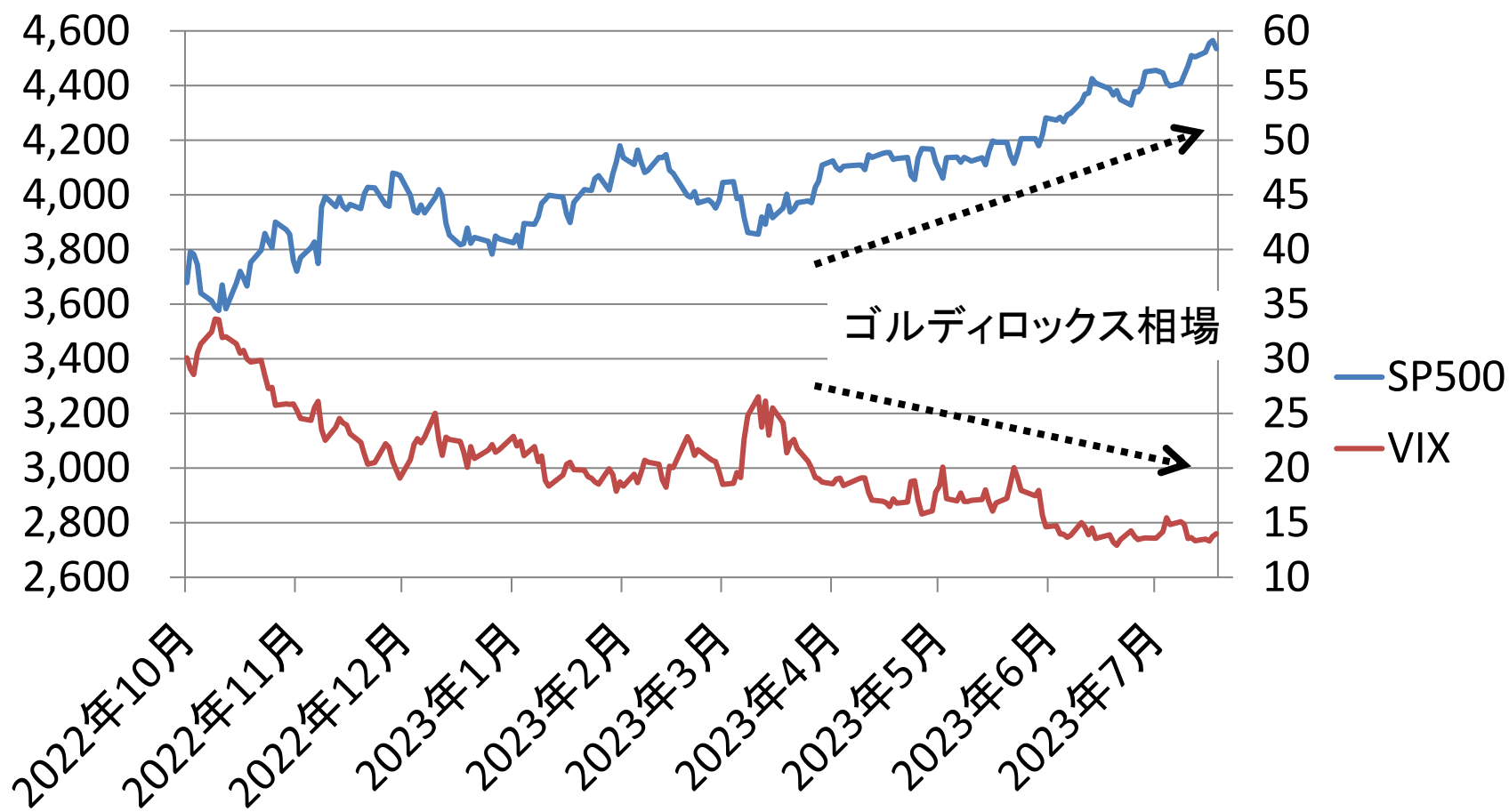
2022年10月以降: SP500の推移(23年7月20日まで)



安値を付けてからのSP500の高値からの下落率

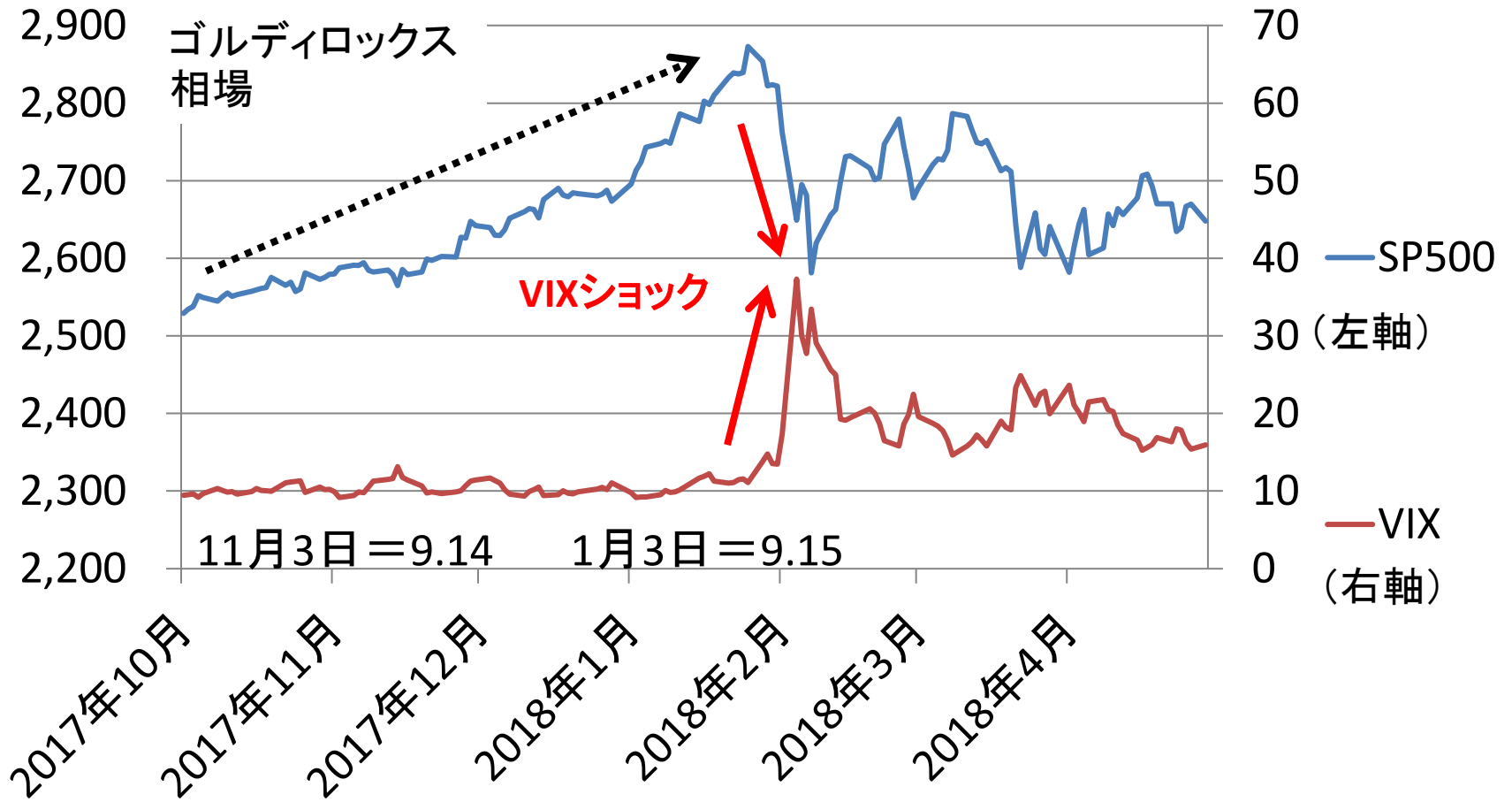


2022年10月以降：SP500とVIXの推移（23年7月20日まで）

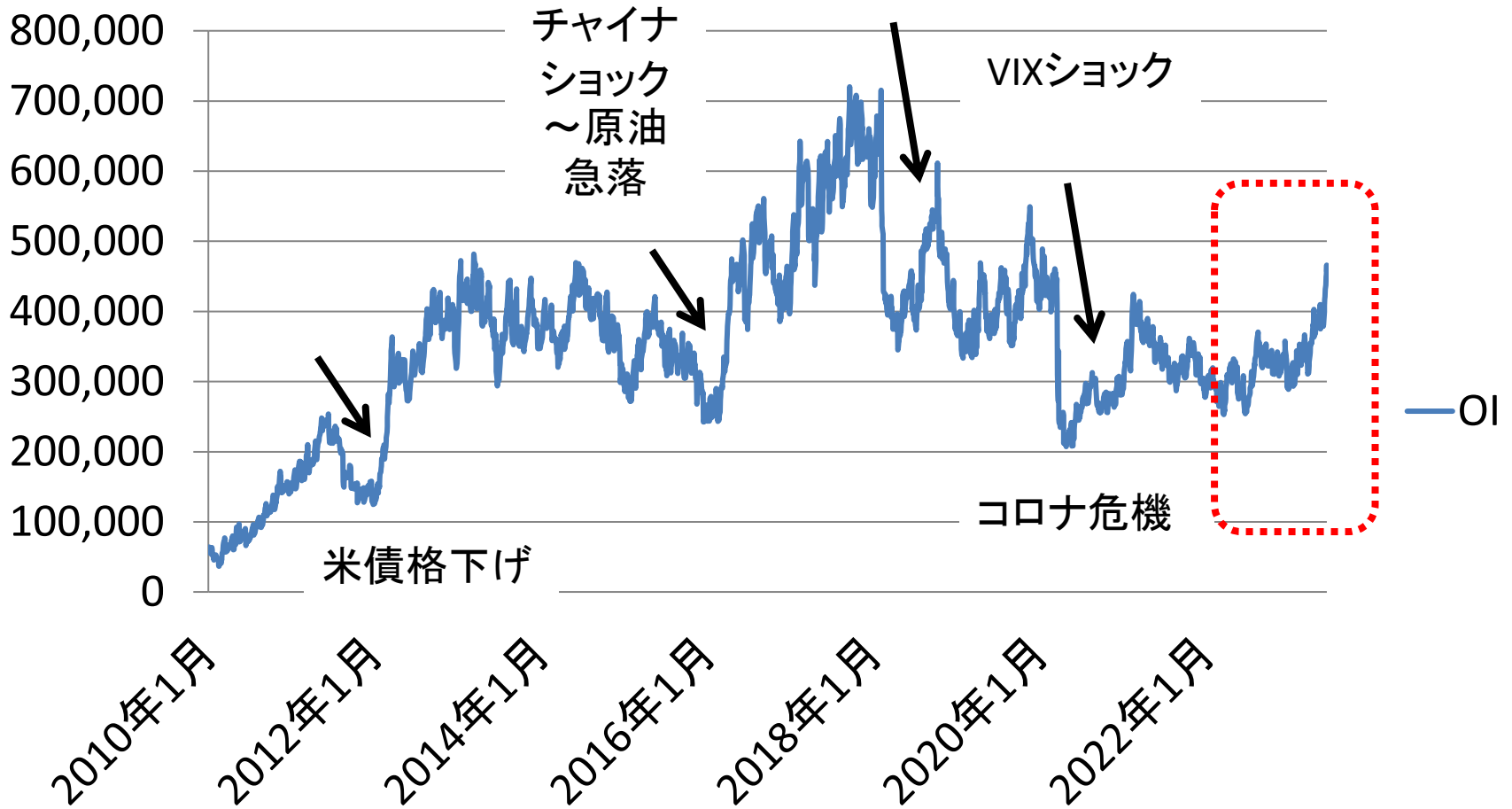


VIXショック前後：SP500とVIXの推移

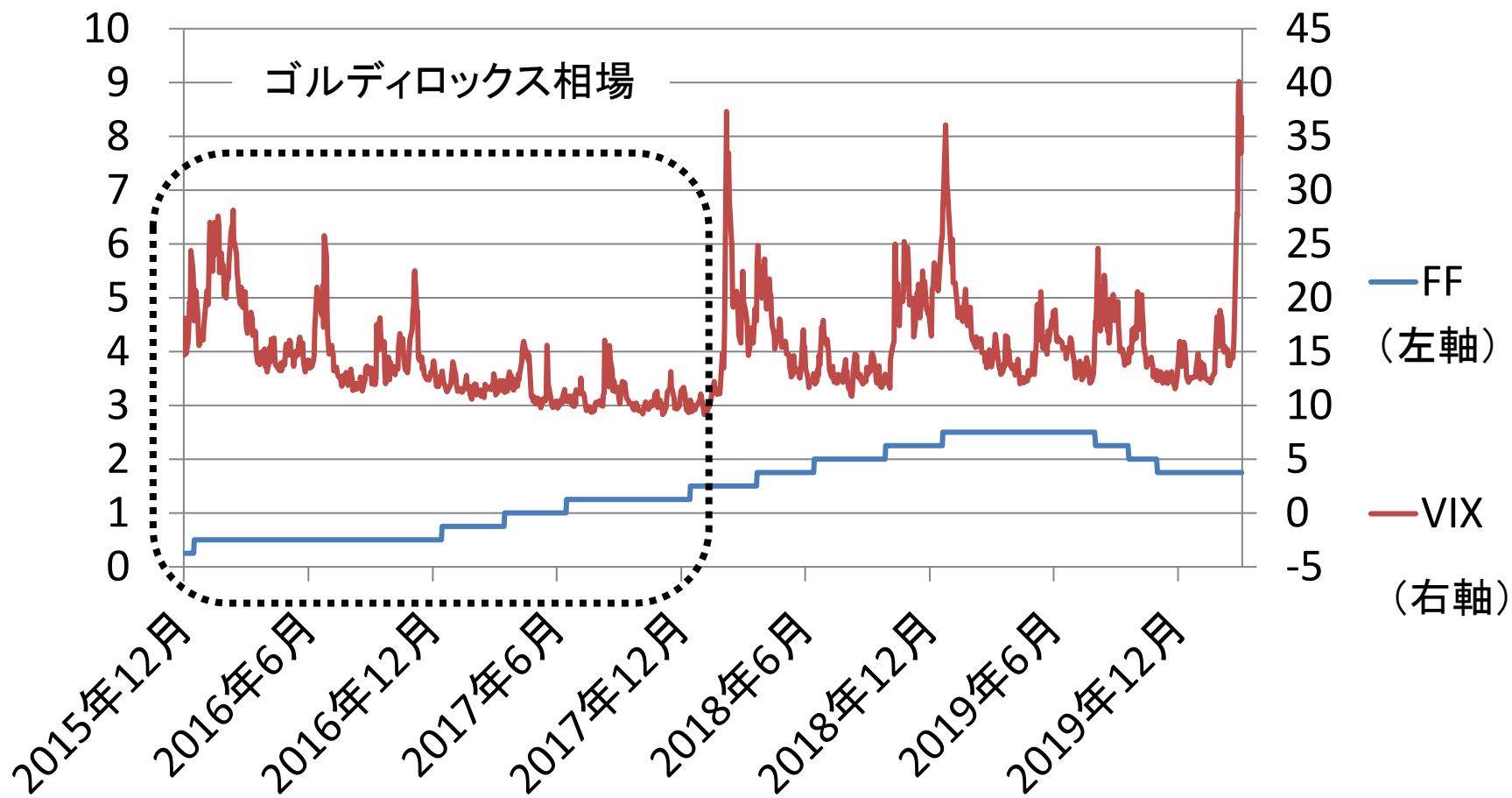
SP500は1月26日から2月8日まで一気に10.2%下落



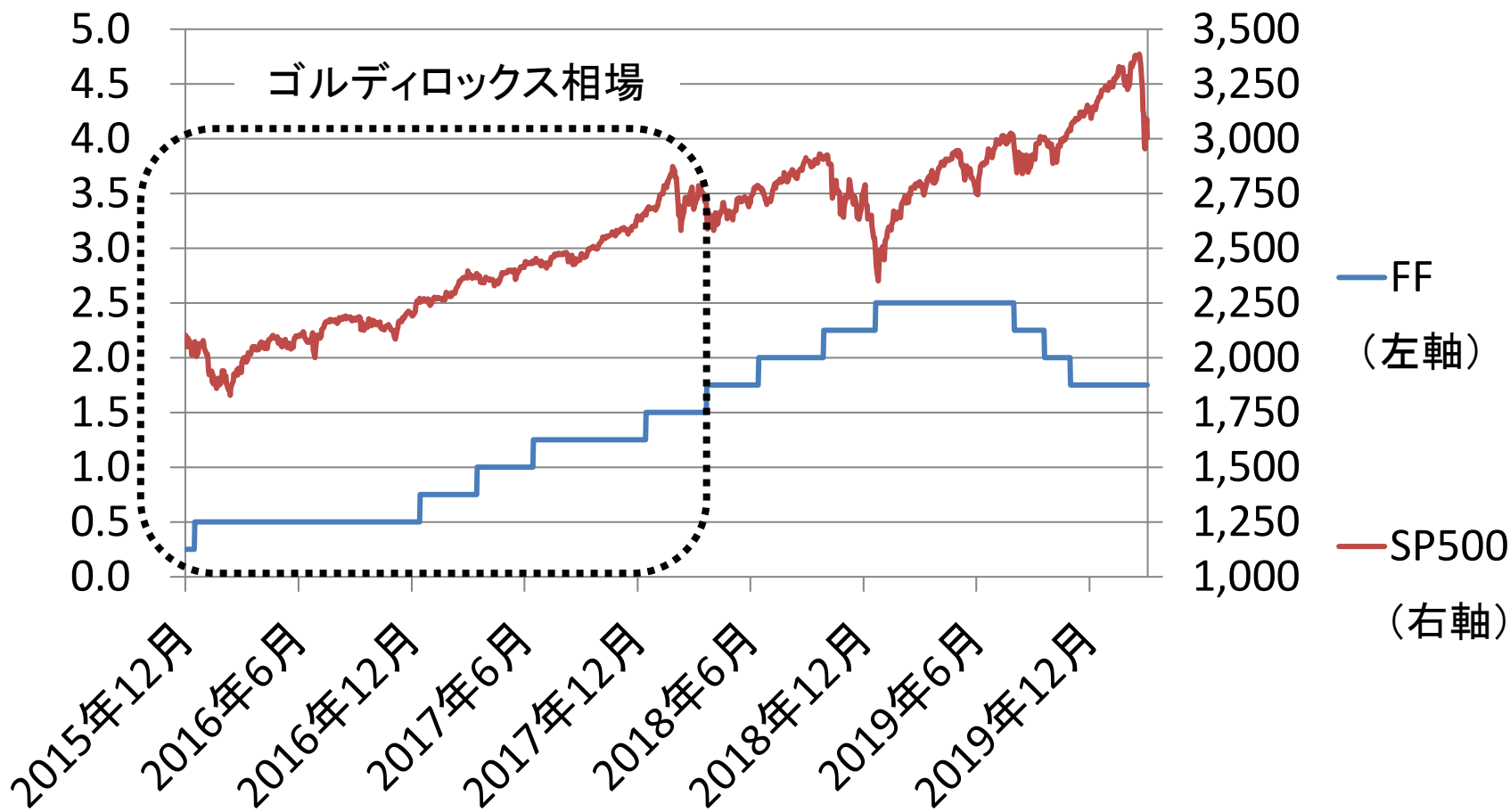
VIX先物建玉 (OI : Open Interest) と主な事件



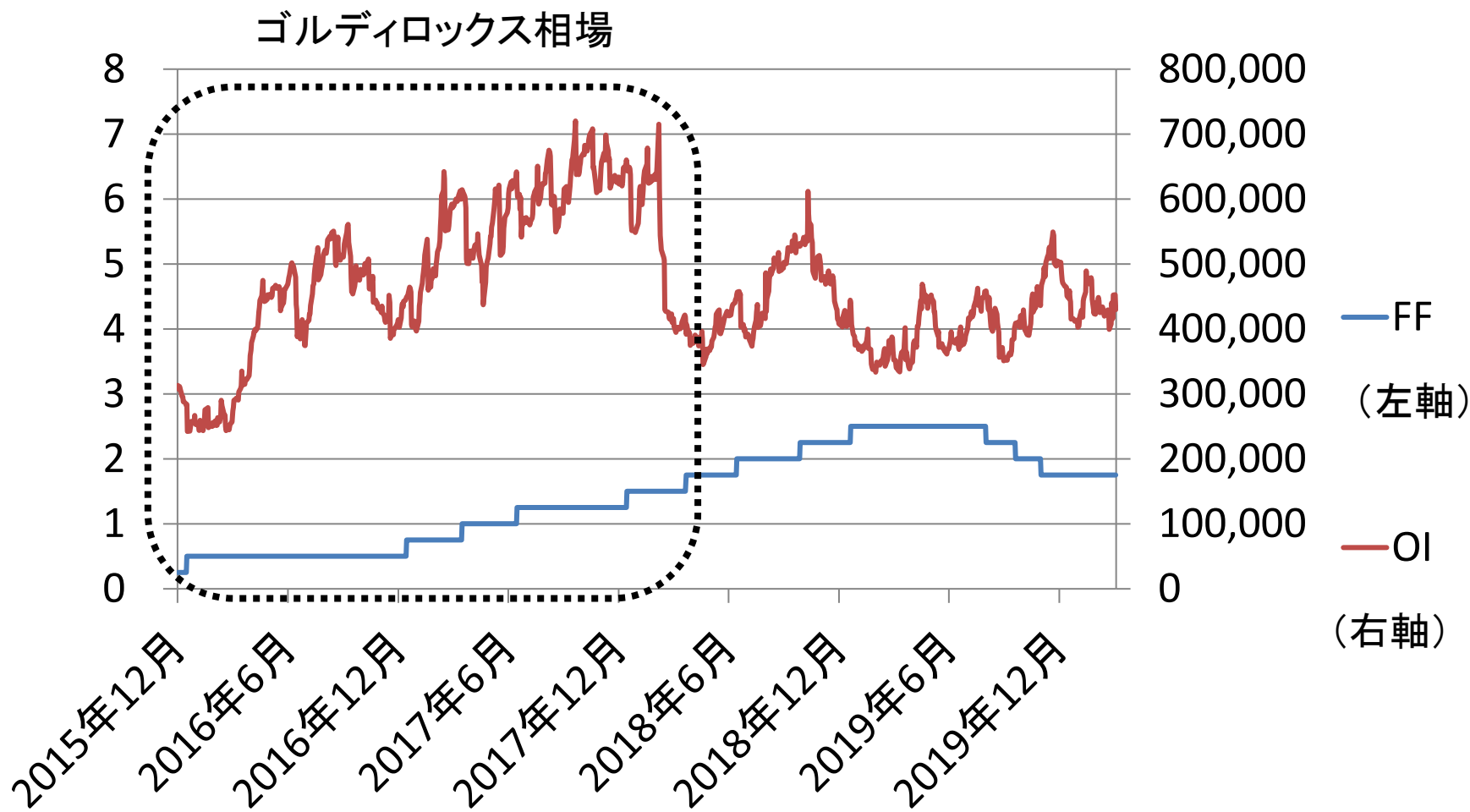
FFレートとVIXの推移(15年12月～20年3月)



FFレートとSP500の推移(15年12月～20年3月)

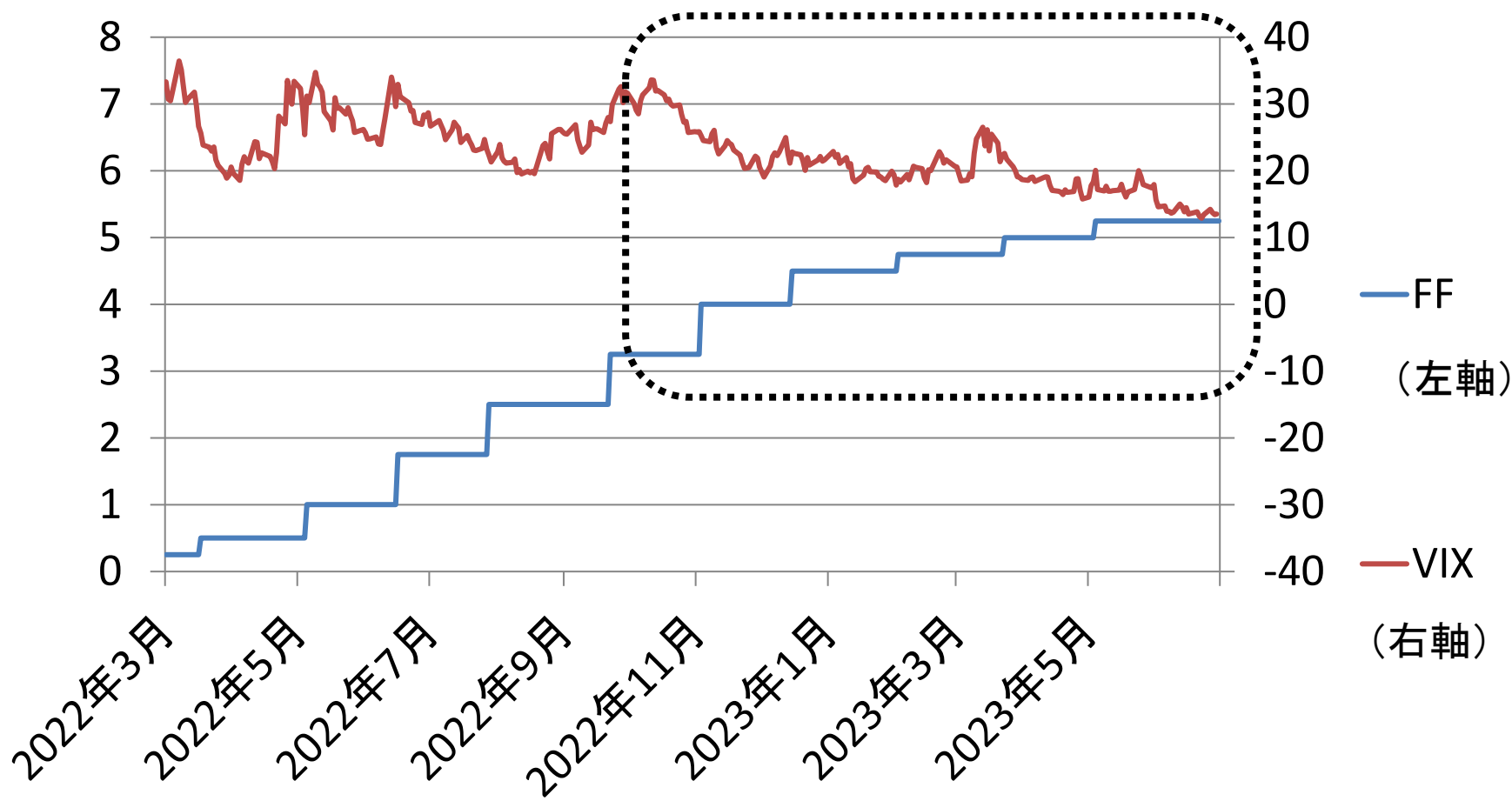


FFレートとVIX先物建玉の推移(15年12月～20年3月)



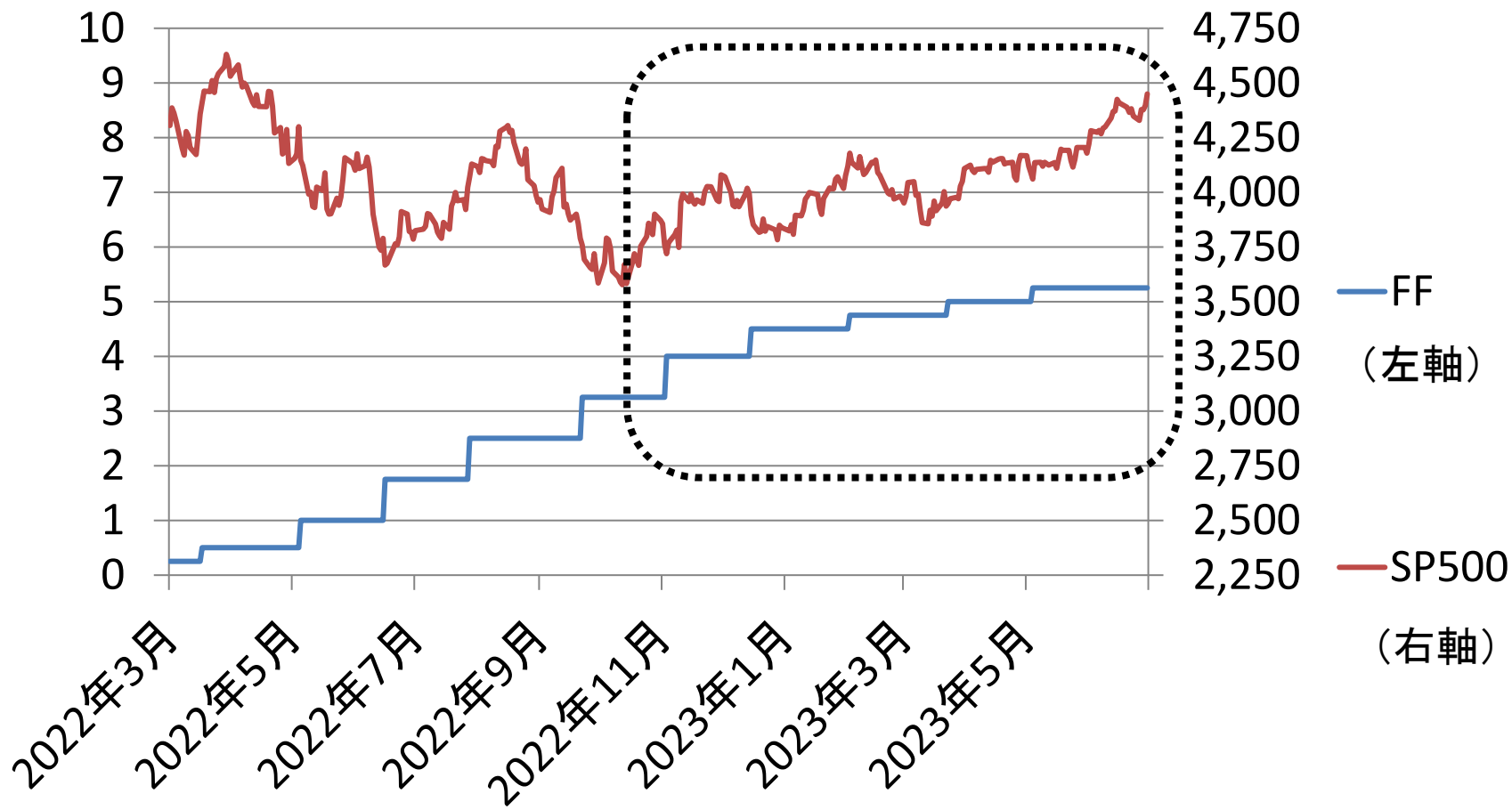
FFレートとVIXの推移(22年3月~23年6月)

ゴールドロックス相場

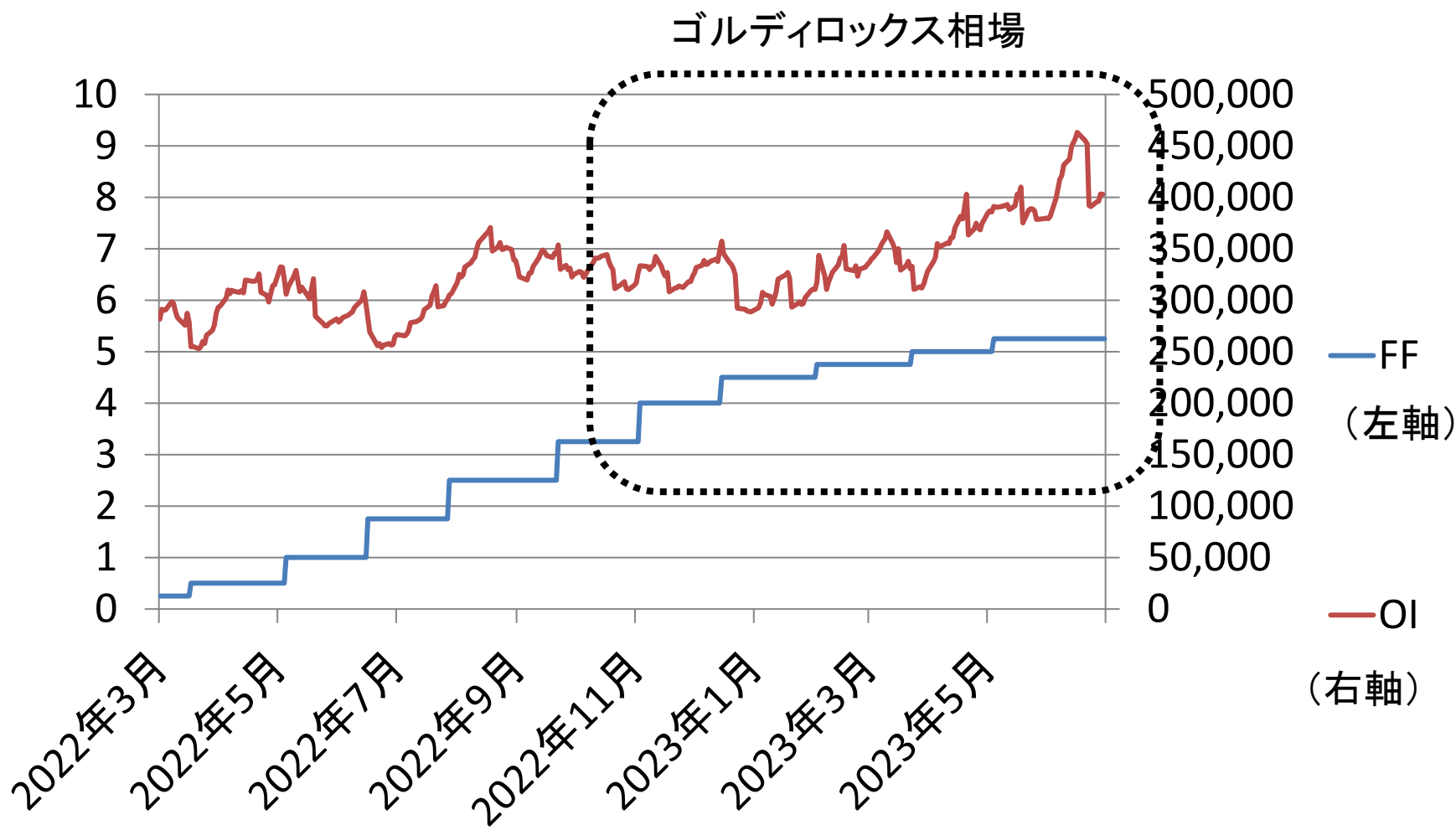


FFレートとSP500の推移(22年3月～23年6月)

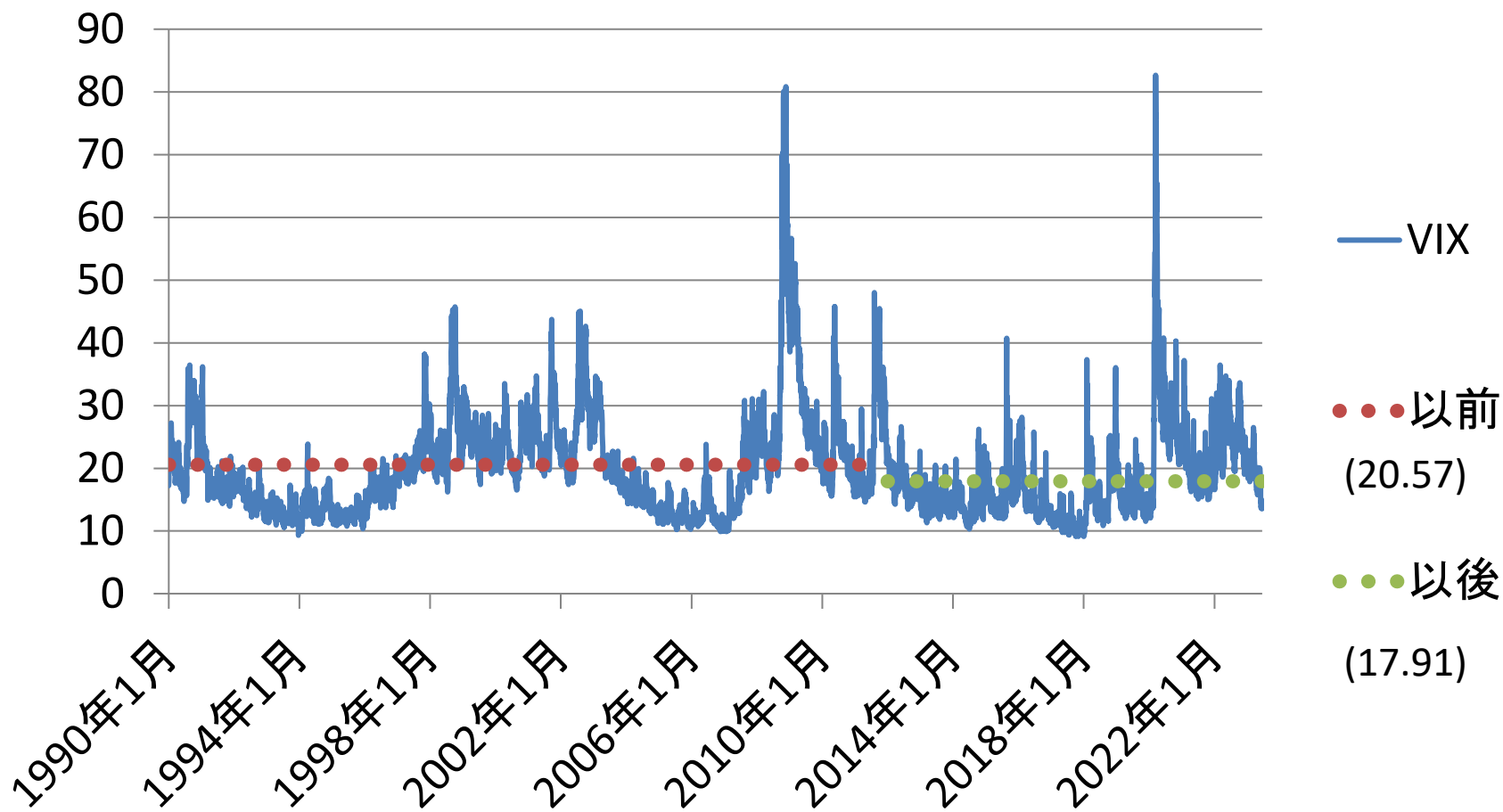
ゴルディロックス相場



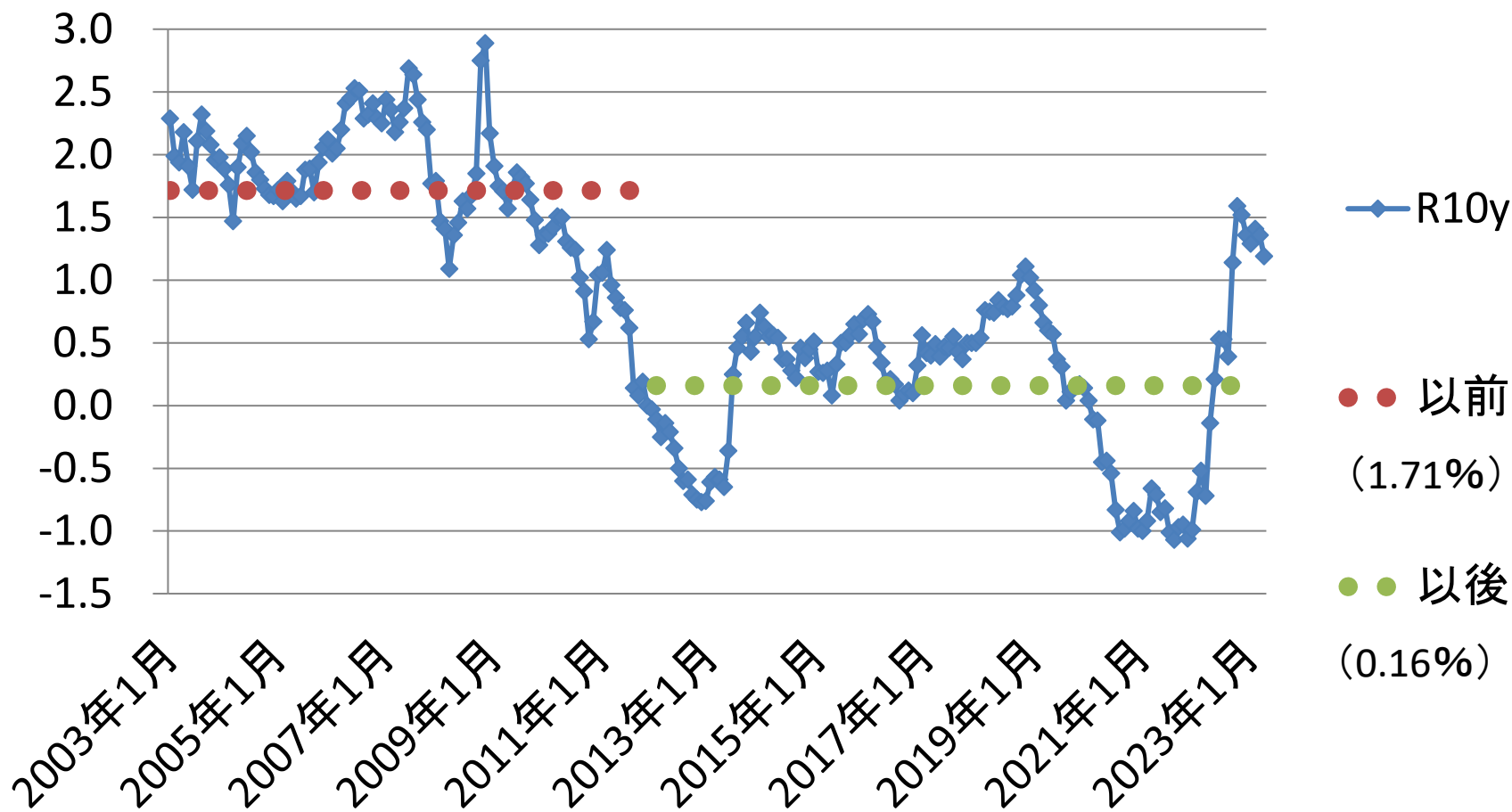
FFレートとVIX先物建玉の推移(22年3月～23年6月)



インフレ目標とフォワード・ガイダンスの時代(12年～) 以前と以後：VIXの長期推移と平均値

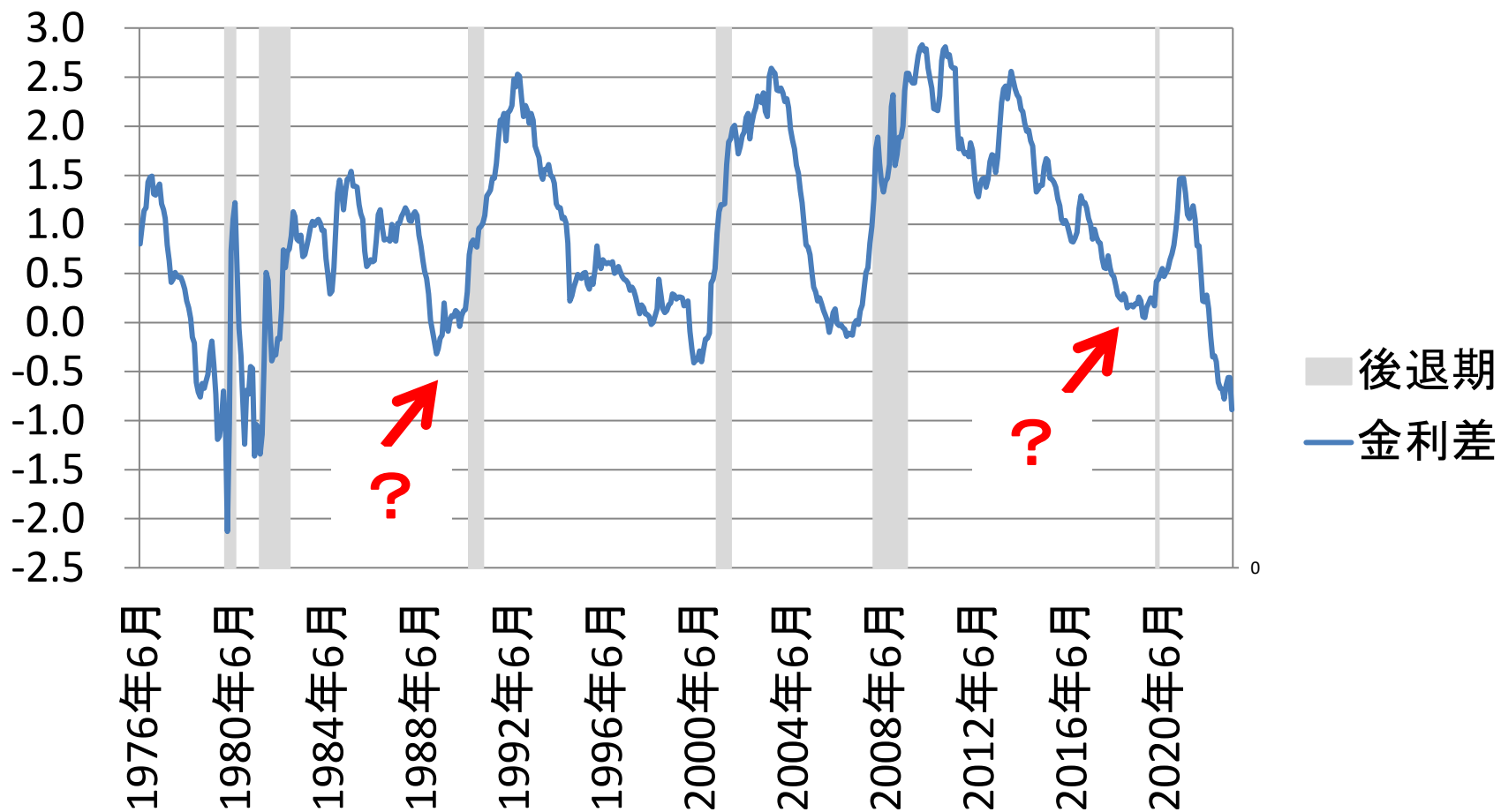


インフレ目標とフォワード・ガイダンスの時代(12年～) 以前と以後：実質10年金利(%)と平均値

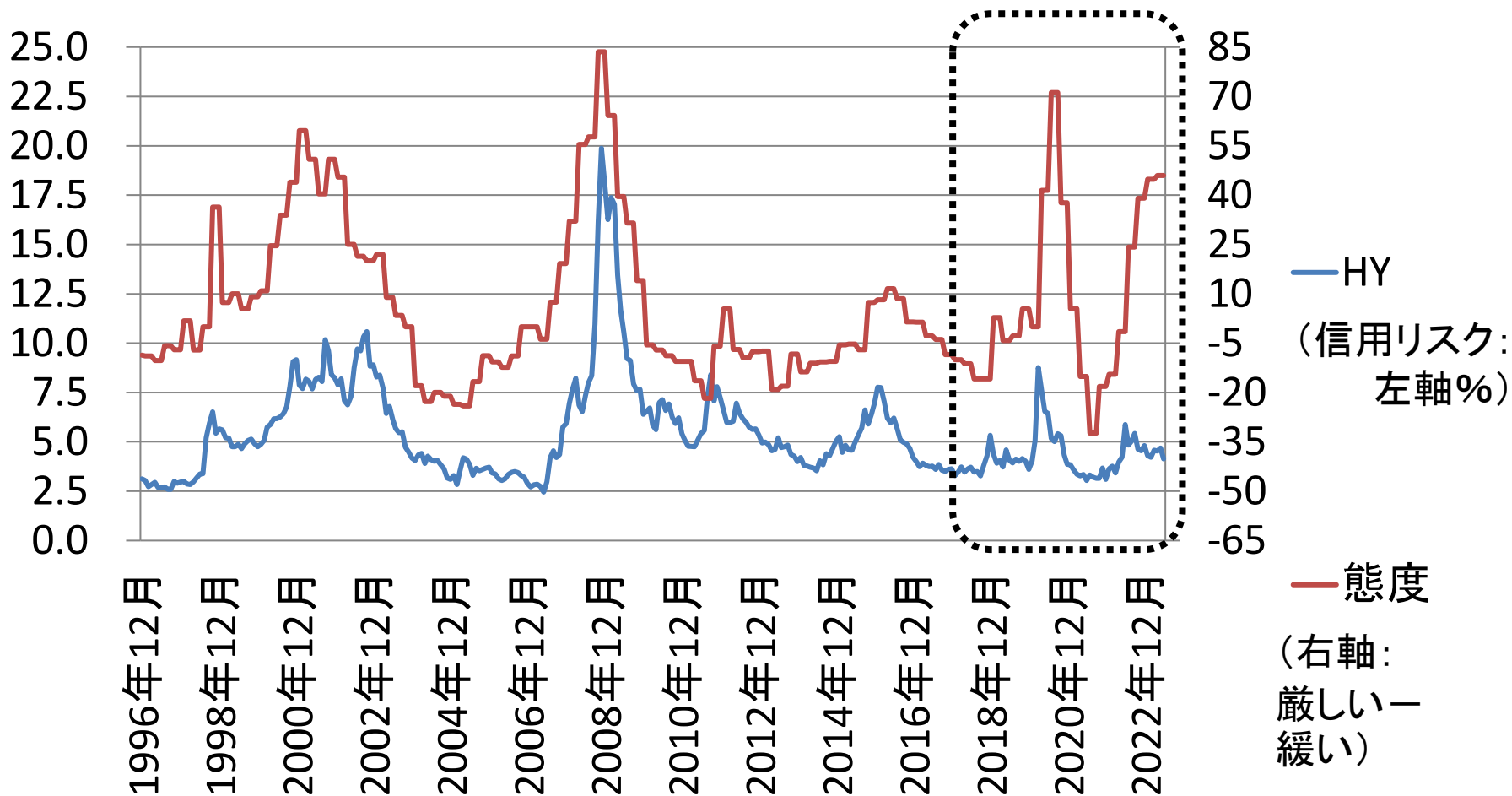


長短金利差の推移(10年-2年: 月中平均値%)

そもそも過去6回の景気後退期のうち2回の信憑性は疑わしい



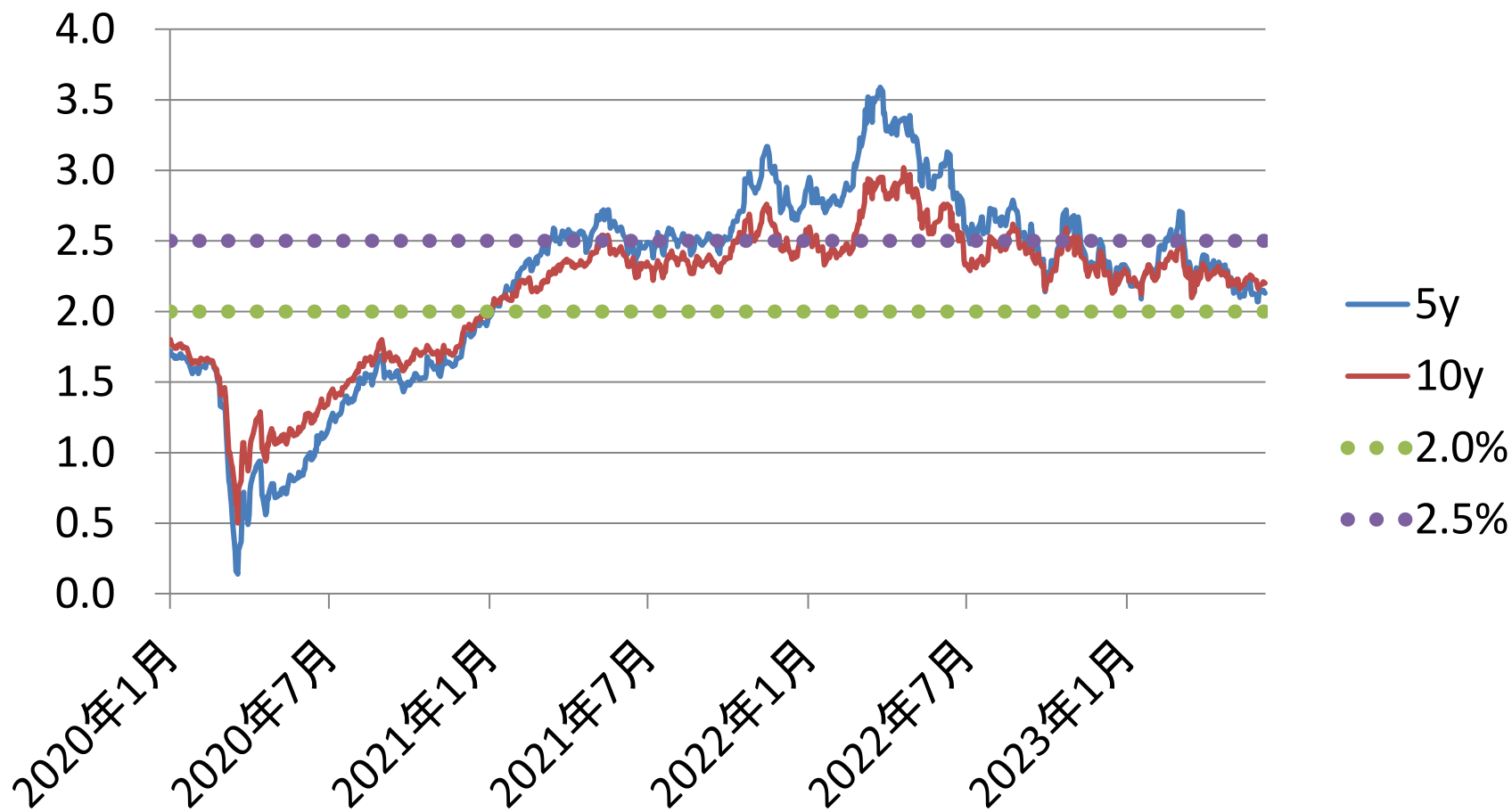
信用リスク(ハイールド債利回りー同年限国債利回り:%) と米国銀行融資態度の推移



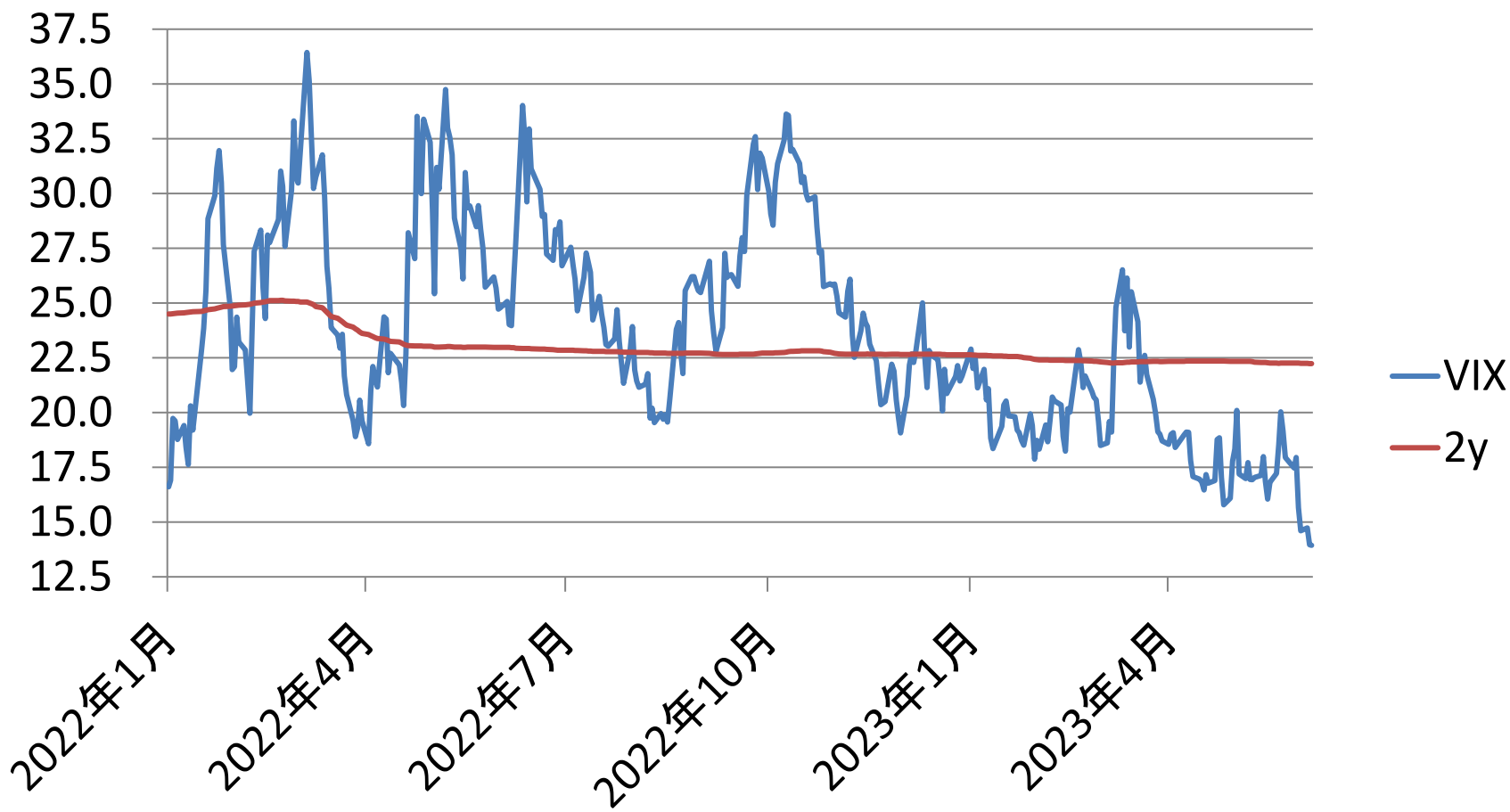
上昇トレンドにおけるリスク・チェック

5年、10年：期待インフレ率の推移(%)

期待インフレ率 = 名目金利 - 実質金利

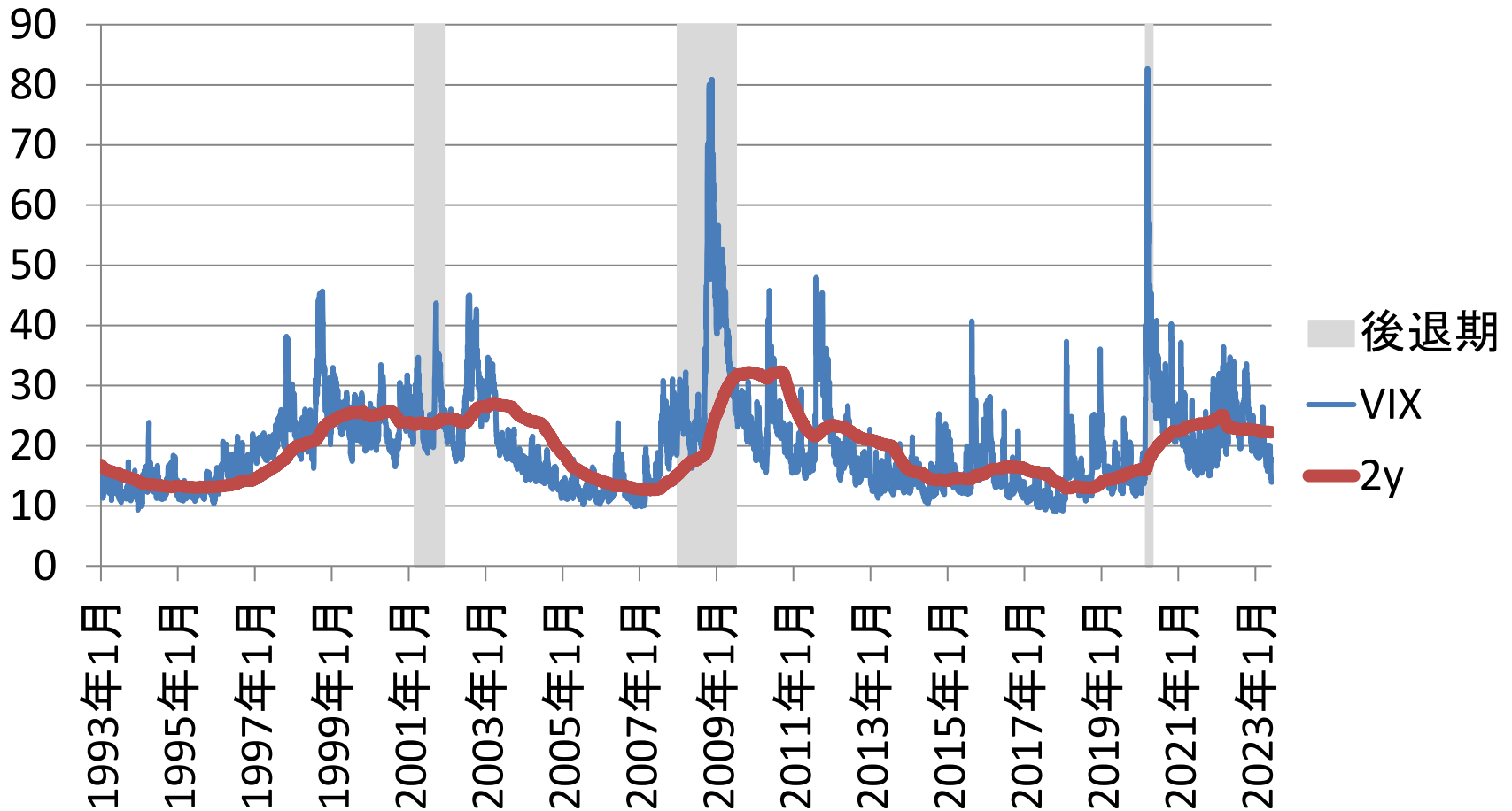


米国VIX指数の推移(2y=2年間平均値)



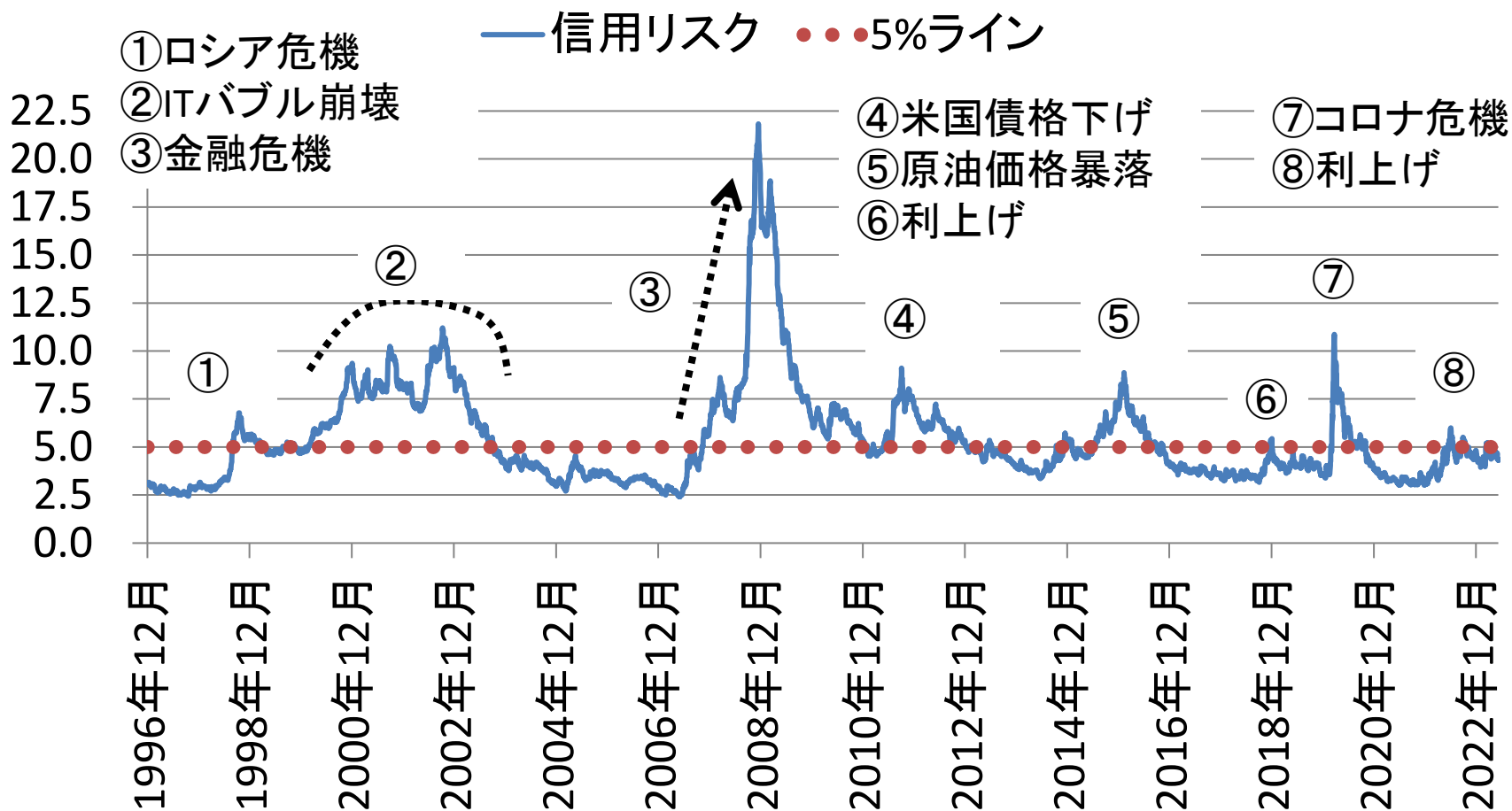
VIX指数の長期推移

景気後退期はVIXの長期トレンド(2年)が上昇期に入ってから訪れる



米国ハイイールド債：信用リスクの推移(%)

信用リスク＝同年限国債利回りとの金利差



ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

外国為替証拠金取引（FX）のリスクと費用等について

外国為替証拠金取引(FX)の取引にかかるリスク

外国為替証拠金取引（FX）は、取引通貨の価格変動や、スワップポイントの支払いにより、損失が生じるおそれがあります。また、外国為替証拠金取引（FX）は少額の証拠金で、その差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。また、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

外国為替証拠金取引（FX）の取引にかかる費用等

外国為替証拠金取引（FX）の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各通貨の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは通貨ペアごとに異なります。

証拠金について

〔楽天FX口座〕レバレッジコースに応じて取引金額の4%～100%(最大レバレッジ25倍)の証拠金が必要となります。

(法人のお客様の場合は、取引金額に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

〔楽天MT4口座〕想定元本の4%以上の証拠金が必要となります。(法人のお客様の場合は、想定元本に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

*当社は、金融先物取引業協会が算出した「為替リスク想定比率」以上となる証拠金率を通貨ペアごとに定めております。「為替リスク想定比率」とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを使い算出されるものです。

スプレッドについて【(例外あり) について】

通常時は広告表示のスプレッドでお取引いただいておりますが、為替市場における取引高の低下又は売買が一方向に集中しているなどの状況においてはスプレッドが広がる場合があります。また、広告表示の値は実際の取引時のスプレッドを保証するものではなく、お客様の約定結果による実質的なスプレッドが広告表示の値と合致しない場合がありますのでご注意ください。なお、スプレッドの拡大は、以下のような状況において発生する場合があります。

- 平日早朝時（概ね6時30分～7時30分※サマータイム期間中は一時間繰り上がります）
- 国内外の金融市場休場日（海外のクリスマス休暇や年末年始など）
- 主要経済指標の発表前後
- 震災などの天変地異や政変又は金融・経済関連の重大な出来事などの突発事象の発生時

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

店頭CFD取引にかかるリスクと費用等について

CFD取引にかかるリスク

CFD取引は、お取引の対象となる銘柄の価格変動、金利相当額、配当相当額、価格調整額の支払い、各国の経済、社会情勢、金融政策、金融指標等の変動により損失が生じるおそれがあり、投資元本が保証されたものではありません。また、CFD取引は差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため大きな損失が発生する可能性があり、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

CFD取引にかかる費用等

CFD取引の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各銘柄の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは銘柄ごとに異なります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

証拠金について

株価指数CFDは個人口座、法人口座とも取引の額に対して10%以上、商品CFDは個人口座、法人口座とも取引の額に対して5%以上の証拠金が必要となります。

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかるリスクと費用等について

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかるリスク

当社の取扱う店頭通貨バイナリーオプションは満期時（判定時刻）に権利が自動行使されるヨーロピアンタイプのオプション取引です。取引対象である通貨の価格変動が予測通りとなった場合には利益が得られることもある反面、予想が外れ権利が消滅した場合、支払ったオプションの購入金額を全額失うこととなります。また、オプションの購入価格と売却価格には差（スプレッド）があり売却時に損失を被る可能性があります。

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかる費用等

店頭通貨バイナリーオプション取引の取引手数料は無料です。

オプションの購入価格について

1枚あたりの最大購入価格は999円です。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会

国内株・米国株取引で
金額UP!

楽天CFD

キャッシュバック
キャンペーン

50,000
lots以上

取引すると1lotにつき
最大6円キャッシュバック!

エントリー ▶ 2023年6月1日(木) 0:00 ~ 8月31日(木) 23:59

取引期間 ▶ 2023年6月1日(木) 7:00 ~ 9月1日(金) 5:55